

平成 29 年度 大牟田市社会福祉協議会 事業報告

平成29年度の事業計画の重点施策は、①生活困窮者自立支援法施行に基づき、生活困窮者セーフティーネット（包括的・個別的な支援や早期的・継続的な支援等）の役割を担っていくこと、②2025年を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向けての仕組みづくり、③地域共生社会において、「制度の狭間」となるような地域課題の解決のために積極的な支援を行うこと 以上を定めていました。

また、平成29年度は、第3次大牟田市地域福祉計画・地域福祉実践計画（平成27年度～平成31年度までの5年間）の3年目にあたりました。

本会は、2025年までの助走期間として、大牟田市とともに3つの基本目標を定めて事業展開していくこととしています。

【基本目標1】 つながりを育む人づくり

【基本目標2】 みんなで支え合う地域づくり

【基本目標3】 生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり

このような計画のもと、平成29年度は、地域住民の個別ニーズにしっかりと向き合い、地域の生活課題を見つけ、様々な社会資源・地域資源の活用を図りながら、課題解決の仕組みづくりに努めてまいりました。

また、社会福祉法人制度改革により、様々な地域課題に対して、既存の制度や市場原理では満たされないニーズについて、社会福祉法人が率先して対応する取組みが求められることから、平成27年5月に設立した「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会（以下「社福公益協」）」を通して、制度の狭間の問題を解決に導く「生活困窮者レスキュー事業」を積極的に展開してきたところです。

以上を踏まえて、平成29年度の特記すべき事項や活動の進捗として

① 生活支援サービスの充実強化

本会は、地域包括ケアシステムのうち、「生活支援」の一翼を担わなければならないと考えていることから、小地域ネットワーク活動、ふれあいサロン活動、住民参加型在宅福祉サービス、日常生活自立支援事業（金銭管理等）、成年後見事業、居住支援事業や、社福公益協が実施する生活困窮者レスキュー事業など、生活支援サービスの更なる充実に努めた。

加えて生活支援サービスを支える市民サポーターや、社福公益協の参画団体も増えており、2025年に向けて、生活支援サポーター体制の強化を図った。

② 災害支援及び災害ボランティアセンター設置運営等訓練

九州北部豪雨災害に際しては、災害ボランティア保険受付窓口の設置や義援金の受入れ、福岡県社協の要請により、被災地の朝倉市や東峰村災害ボランティアセンターに本会職員をスタッフとして派遣するなどの支援を行った。

また、大牟田市が実施する総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター設置運営訓練及び要援護者避難誘導訓練に努めた。

③ 「地域共生社会」に向けた多職種協働による新たな支え合い活動

「グリーンコープふくおか」との食料支援を基本とした協定締結や「おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議」が設立されたことなど、新たな支え合いの仕組みが始まった。

加えて、生活協同組合等、大手スーパー、NPOなどからの生活支援や、子ども食堂等に賛同する企業・団体・個人等からの寄付・寄贈など、徐々に支援活動の輪が広がっている。

平成29年度の事業報告については、次のとおりです。

**【基本目標 1】つながりを育む人づくり
支え合いのあるまちづくりの担い手を育成します。**

(1) 福祉教育推進事業

① 福祉教育を推進する人材の育成

「持続可能な社会・地域づくりの学びあいフォーラム」や「福祉教育推進セミナー」などの参加を通じて、全国・県内の福祉教育の取り組みについて学び、学校や地域との連携強化や身近な福祉に関する気づきを提供する機会が少ないことなどが課題であることがわかった。今後は学校と地域とがつながり合えるような取り組みを行っていきたい。

② 地域を基盤とした福祉教育の展開

学校教育における地域ボランティア活動の取り組みについて、ボランティア連絡協議会の協力を得て、福祉教育活動を学んだ。また、九州北部豪雨災害で被災された東峰村の方々の協力を得て、「地域とのつながり」や「働くこと」についての講話を現地で直接聞くことができた。

学びの旅～職場訪問～(中学校 1 年生対象)		
実施月日	第 1 回：平成 30 年 1 月 23 日	第 2 回：平成 30 年 3 月 1 日
実施場所	第 1 回：総合福祉センター	第 2 回：宅峰中学校
実施内容	第 1 回：ボランティア連絡協議会の取り組みについて	
	第 2 回：社会福祉協議会の取り組み、1 年間の授業の振り返り	
講 師	第 1 回：ボランティア連絡協議会	第 2 回：市社協職員
参加人数	第 1 回：20 名	第 2 回：約 160 名

小地域福祉の推進につながる福祉教育(中学校 2 年生対象)		
実施月日	第 1 回：平成 30 年 2 月 18 日	第 2 回：平成 30 年 3 月 15 日
実施場所	第 1 回：東峰村	第 2 回：宅峰中学校
実施内容	第 1 回：九州北部豪雨災害の講話	第 2 回：仕事とは？
参加人数	第 1 回：15 名	第 2 回：約 150 名



農業ボランティア体験の様子



九州北部豪雨災害の講話の様子

③ 小・中・高等学校等の福祉教育活動の支援

① 福祉教育のコーディネート

学校等における福祉教育活動に、大牟田市視力障害者福祉協会、大牟田聴覚障害者福祉協会、大牟田手話の会「ありあけ」の協力を得て、講師（ゲストティーチャー）を派遣した。また、点字教室では、点訳奉仕「大牟田むつき会」の協力を得た。

派遣件数	H27年度	H28年度	H29年度
合計件数	18件	25件	17件
前年度比	75%	139%	68%



視力障がいの方の講話の様子



車いす体験学習の様子



点字教室の様子

② 福祉教材の貸出

福祉への関心や理解を高める教育活動において活用できる福祉教材（高齢者疑似体験セット、車いす、白杖、アイマスク、DVD等）を貸出した。

貸出件数	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計件数	24件	26件	15件	30件	17件
前年度比	133%	108%	58%	200%	57%

(2) ボランティアセンター機能充実事業

① ボランティア活動情報の収集・提供

福祉やボランティアに関する情報を収集し、掲示板や広報誌、WEBサイトなどで情報を提供した。

また、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人をつなぐために、ボランティアセンター登録団体名簿を作成し、ニーズに応じた情報を提供した。

② ボランティア活動の相談・調整

① ボランティア活動のコーディネート

ボランティアをしたい人やボランティアを必要とする人からの相談を受け、99件のボランティア活動をコーディネートした。

② ボランティアコーディネーション力の強化

ボランティアセンターは、地域に開かれた相談窓口の一つとして、相談・ニーズ調査等を通して、地域ニーズと個別ニーズを把握し、その課題解決に向けて先駆的な方策を展開することが求められていることから、活動へのきめ細やかな支援やそれに関わるボランティアコーディネーターの人材育成が課題であった。そこで今年度も、職員のボランティアコーディネーション力の強化に取り組んだ。

実施月日	主な内容
平成 29 年 11 月 3 日	日本ボランティアコーディネーションカ 3 級検定研修受講 3 級検定受験(受験 2 名のうち合格 2 名)

③ おもちゃの図書館「くるりん」の支援

障がいのある子もない子と共に、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、心豊かに育ちあう場である「おもちゃの図書館」。子ども達にたくさんのおもちゃを用意し、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ機会と、保護者が交流する場「ママのほっとタイム」を支援した。今年度は、クリスマスおでん会や交通安全教室のイベント支援も行い、参加者の気持ちに寄り添い、安心感を醸成することができた。



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
A	5	10	10	6	11	中止	5	7	14	8	9	10	95
B	4	5	6	4	6	中止	2	4	10	7	5	7	60
C	8	6	5	3	5	中止	13	11	9	9	6	11	86

A: 子どもの参加人数、B: 保護者の参加人数、C: ボランティアの参加人数 ※9月は台風接近のため中止

④ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間イベントの支援

世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間に、大牟田市自閉症児者親の会が取り組むイベントを支援した。

実施月日	平成 30 年 3 月 21 日
実施場所	総合福祉センター 1 階 多目的ルーム
実施内容	自閉症を知るためのおはなし会 「自閉っ子からこんにちは」



③ テーマ型ボランティア講座の実施

- ① 今年度は「傾聴」をテーマに掲げ、専門的な技術を学び、充実したボランティア活動を実践できるように、傾聴のスキルアップを目指したボランティア講座を実施した。

傾聴ボランティア講座（全 2 回）	
実施月日	平成 29 年 10 月 19 日 平成 29 年 10 月 26 日
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	【基本編】基本のスキルを学ぼう 【実践編】傾聴の技術を活かそう
講師	NPO 法人 日本ソーシャルコーチ協会 富岡 郁雄 氏
参加人数	基本編 30 名、実践編 24 名



- ② 日常的にソーシャルメディアに慣れ親しんでいる学生や若者の感覚をボランティア活動に活かすことを目的に、ソーシャルメディアを活用した災害ボランティア活動に関する講座を大牟田市と共催で実施した。実際の災害活動について理解を深め、災害時に必要な情報を発信することや情報を得ることが大切であること、災害時を想定したグループワークを通して、災害時に必要な情報、欲しい情報、その情報はどのように伝達したら良いのかなどの意見が飛び交った。

災害ボランティア講座 (全 2 回)	
実施月日	平成 30 年 3 月 2 日 平成 30 年 3 月 3 日
実施場所	えるる 2 階 小研修室
実施内容	[第 1 回] 私にもできるかも!? 災害ボランティア活動 [第 2 回] スマホでもできる!? 災害ボランティア活動
講 師	NPO 法人 ANGEL WINGS 藤澤 健児氏 さいばーとれいん 斉場 俊之氏
参加人数	第 1 回 37 名、第 2 回 34 名



災害ボランティア講座の様子①



災害ボランティア講座の様子②

④ 登録ボランティアグループ等への支援

ボランティア活動への参加を促進するために、ボランティアグループの結成・運営などに関する相談や活動に必要な器材の貸出、各種助成金申請等を支援した。

① ボランティアの登録

登録数	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
グループ	61 団体	54 団体	46 団体	44 団体	48 団体
前年度比	120%	89%	85%	96%	109%
個人	24 名	13 名	17 名	34 名	61 名
前年度比	83%	54%	131%	200%	179%

② タブレットDE楽しみ隊 (タブレット) の活動

タブレットは、平成 24 年度に「タブレットDE 地域デビュー～人生に彩りを」をテーマに開催した講座の受講生が結成したグループ。本年度もサロンを中心とした活動を年間 12 件コーディネートした。



タブレットのサロン訪問の様子

⑤ 保険加入の支援

① ボランティア活動保険の情報提供・加入受付

平成29年九州北部豪雨に伴う被災地でのボランティア活動にあたって、ボランティア活動保険への加入者は例年に比べると増加した。

加入件数	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
受 付	1,018名	1,063名	1,073名	1,736名	1,446名
前年度比	79%	104%	101%	162%	83%

※平成28年度は、熊本地震に伴う被災地支援のボランティア活動を含む。

② ボランティア行事用保険の加入受付 206件(9,097名)

③ ふれあいサロン・社協行事傷害補償の加入受付 54件(8,755名)

**【基本目標2】みんなで支え合う地域づくり
人と人とのつながりを深め地域の支え合い活動を推進します。**

(1)小地域ネットワーク活動推進事業

経済的困窮、社会的孤立、ひきこもり、虐待、権利侵害等の福祉課題・生活課題が、地域で早期に発見され、地域を基盤にした解決が可能な支援ネットワークとなることをめざして、以下に取り組んだ。

①福祉委員の配置

今年度は福祉委員第6期（平成28年7月1日～平成30年6月30日）中にあたるが、福祉委員の欠員補充及び交代に伴う委嘱を行った。

①福祉委員の配置数 354名（新任福祉委員数 17名）

配置数	第4期	第5期	第6期
福祉委員配置数	366名	367名	354名
充足率	98%	98%	95%

②新任福祉委員研修会の実施

実施日	場 所	参加者数	実践報告者
平成 29 年 7 月 7 日	大会議室	12 名	中原英子 氏(銀水)
平成 29 年 7 月 8 日	中会議室	2 名	猿渡勝彦 氏(明治) 塚本千草 氏(天領)
平成 29 年 11 月 9 日	ミーティングルーム	1 名	事 務 局



②福祉委員フォローアップ研修の実施

見守り訪問活動を展開している福祉委員等を対象として円滑な小地域ネットワーク活動を目的に「LINEでつながる地域の活動」をテーマに研修を実施した。参加者からは「LINEは地域福祉活動に活かそう」、「LINEを使うことで活動の負担が減りそう」という声があがった。

「LINE でつながる地域の活動(基礎編・活用編)」	
実施月日	基礎編：平成 30 年 2 月 21 日 活用編：平成 30 年 2 月 28 日、3 月 7 日
実施場所	基礎編：イオンホール 活用編：総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	基礎編：LINE を活用した地域活動の実践発表 活用編：LINE を使ってみよう
講師	基礎編：さいばーとれいん 代表 斉場俊之 氏 中友校区社協会長 吉田勢津子 氏 三池校区民児協会長 藤井将也 氏 倉永校区まち協会長 井形陽一 氏 活用編：さいばーとれいん 代表 斉場俊之 氏
参加人数	延 185 名

③ 校区福祉座談会・研修会等への参画

実施月日	主な内容	参加者数
平成 29 年 4 月 14 日	平原校区福祉部会会議「まち協役員（福祉部会）推薦について」	27
平成 29 年 5 月 19 日	市社協・手鎌校区社協役員座談会 「手鎌校区合同研修会に向けて地域支え合いマップ （課題抽出）の説明」	11
平成 29 年 6 月 24 日	駿馬北校区研修会「くらなが安心ネットについて」	31
平成 29 年 7 月 8 日	手鎌校区合同研修会「地域支え合いマップについて」	71
平成 29 年 8 月 9 日	三池校区福祉座談会「福祉委員の役割について」	72
平成 29 年 8 月 9 日	中友校区福祉委員、民生委員・児童委員合同研修会 「災害時における役割について」	30
平成 29 年 9 月 7 日	倉永合同研修会「災害時認知症の方を見守る地域の動きについて」	30
平成 29 年 9 月 8 日	玉川校区福祉座談会「災害時に私たちに何ができるか」	24
平成 29 年 9 月 27 日	明治校区社協合同研修会「生活困窮者自立支援制度について」	15
平成 29 年 11 月 5 日	三池校区防災講演会「日常時における地域の支え合いについて」	53
平成 29 年 12 月 12 日	白川校区まち協運営委員会「子ども民生委員について」	32
平成 30 年 2 月 8 日	三池校区障がい者のつどい「地域支え合いマップ作成について」	56
平成 30 年 2 月 17 日	手鎌校区合同研修会「地域支え合いマップ作成」	62
平成 30 年 3 月 8 日	平原校区(亀甲町)「地域支え合いマップを活用した地域課題の共有」	11



地域支え合いマップ作成の様子



地域支え合いマップ作成支援研修

④ 地域支え合いマップ作成の支援

今年度、地域支え合いマップ作成に向けて、以下の校区で研修を行った。

また、小地域ネットワーク活動の充実に向けた取り組みの1つである地域支え合いマップについて、より取り組みやすくなるために作成支援を行った。すでに地域支え合いマップをツールとして使用している校区においては「防災・減災の視点をマップに盛り込むことでより助け合い活動に使いそう」、今後取り組みを考えている校区においては「防災を切り口にする取り組みやすくなりそう」との意見があった。

【地域支え合いマップ作成支援内容】

地域支え合いマップ作成 研修・福祉座談会実施	地域支え合いマップ作成支援	地域支え合いマップ作成
羽山台校区	三池校区（全 域） 高取校区（全 域）	天の原校区(4 地区) 手鎌校区（全 域） 平原校区（1 地区）

「地域支え合いマップと災害時住民支え合いマップづくりに必要な視点とは」

実施月日	平成 30 年 3 月 19 日 13:30～16:00
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	「地域支え合いマップと災害時住民支え合いマップづくりに必要な視点」 ・講義 ・意見交換 / 情報共有
講 師	コミュニティ エンパワメント オフィス FEEL Do 乗原英文 氏
参加人数	20 名(校区社協会長、市社協職員、生活支援コーディネーター)

⑤ 福祉・生活課題学習会の開催

地域支え合いマップ作成支援研修の前段階として、小地域ネットワーク活動の現状と課題を共有した。

「地域支え合いマップを活かした小地域ネットワーク活動について」

実施月日	平成 30 年 3 月 19 日 9:00～12:00
実施場所	総合福祉センター 2 階 相談室、勝立地区公民館
実施内容	「地域支え合いマップを活かした小地域ネットワーク活動について」 ・講義 ・意見交換 / 情報共有
講 師	コミュニティ エンパワメント オフィス FEEL Do 乗原英文 氏
参加人数	10 名(校区社協会長、市社協職員、生活支援コーディネーター)

⑥ 地域包括支援センターとの連携

地域支え合いマップを作成する過程において浮き彫りとなった個別課題や地域課題について、地域包括支援センターと連携し、以下の取り組みを実施した。

時 期	主な内容
平成 29 年 10 月	個別課題についてケース会議を実施(手鎌)
平成 30 年 1 月	地域課題について地域住民も交えて解決方法を検討、実施(平原)

(2) 地域組織活動促進事業

① 校区社会福祉協議会との連携・協働

① 小地域ネットワーク活動の支援（別掲P7）

② 子ども・地域食堂の取組み

校区社会福祉協議会の活動の一環として「子ども・地域食堂」の取組みを支援した。具体的な支援として、食堂の立ち上げ・運営資金の助成、寄付金・品の配分等を実施した。加えて、今年度は市内5校区の子ども・地域食堂関係者、社会福祉法人甘木山学園、本会等が連携し、「おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議」（事務局：社会福祉法人甘木山学園）を発足した。おおむた子ども・地域食堂ネットワークは関係者の情報共有、合同研修を実施することで活動を円滑に行えることを目的としている。



平原ふれあいサロン食堂	
開所日	平成 29 年 7 月 1 日
参加団体	平原校区まちづくり協議会等・大牟田市母子寡婦福祉会 大牟田市社会福祉協議会

おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議	
発足日	平成 29 年 12 月 20 日
参加団体	大牟田中央校区子ども食堂、大正校区子ども食堂、高取ふれあい子ども食堂、 吉野校区ふれあい食堂、平原ふれあいサロン食堂、社会福祉法人甘木山学園、 大牟田市社会福祉協議会

【子ども・地域食堂一覧】

（平成 30 年 3 月末現在）

校区名	名称	開催時間・場所
大牟田中央	大牟田中央校区子ども食堂	毎月第 2 土曜日 11:00～13:00 地域交流センター ちくまち
大正	大正校区子ども食堂	毎月第 2 土曜日 11:00～13:00 大正校区コミュニティセンター
高取	高取ふれあい子ども食堂	毎月第 3 土曜日 11:00～13:00 米の山ふれあいセンター
吉野	吉野校区ふれあい食堂	毎月第 3 日曜日 11:00～12:30 吉野地区公民館
平原	平原ふれあいサロン食堂	毎月第 1 土曜日 11:30～13:30 総合福祉センター

② 校区社会福祉協議会会長連絡協議会活動との連携・協働

校区社会福祉協議会会長連絡協議会（以下「校区社協会会長」）が主体となって取り組む地域福祉活動を事務局として支援した。

今年度は、校区社協会会長が重点項目として、「小地域ネットワーク活動の充実に向けた取組み」を掲げていたことから、総合防災訓練、福祉委員研修、校区社協会会長研修、地域福祉大会、地域リーダー合同研修会など協働で開催した。

① 役員会・会長会開催の支援

開催月日	会議名	主な内容
平成 29 年 4 月 6 日	監査	・平成28年度校区社協会会長会 監査
平成 29 年 4 月 10 日	第 1 回 会長会	・平成28年度校区社協会会長会事業報告及び収支決算 ・平成28年度監査報告 ・平成29年度校区社協会会長会事業計画（案） ・平成29年度校区社協会会長会収支予算（案）
平成 29 年 5 月 22 日	第 2 回 役員会	・平成29年度新任福祉委員研修会について 《情報共有・意見交換》
平成 29 年 6 月 12 日	第 2 回 会長会	・子ども・地域食堂の進捗状況について
平成 29 年 7 月 24 日	第 3 回 役員会	※議題なし 《その他》
平成 29 年 8 月 30 日	第 3 回 会長会	・九州北部豪雨に伴う支援活動について
平成 29 年 9 月 25 日	第 4 回 役員会	・平成29年度 優良校区社協の推薦について 《情報共有》
平成 29 年 10 月 10 日	第 4 回 会長会	・高取校区の取り組みについて
平成 29 年 11 月 27 日	第 5 回 役員会	・平成29年度 校区社協会会長会事業の進捗状況及び総括について
平成 29 年 12 月 11 日	第 5 回 会長会	
平成 30 年 1 月 22 日	第 6 回 役員会	・平成29年度 校区社協会会長会事業報告・総括について ・平成30年度 校区社協会会長会事業素案について
平成 30 年 2 月 13 日	第 6 回 会長会	
平成 30 年 3 月 26 日	第 1 回 役員会	・平成30年度校区社協会会長会事業計画（案） ・平成30年度校区社協会会長会収支予算（案） ・平成29年度校区社協会会長会事業報告 ・平成29年度校区社協会会長会収支決算 ・平成30年度校区社協会会長会年間スケジュール

② 研修部会との協働による研修の企画・実施

校区社協会会長会研修部会と協議し、以下のとおり研修会を実施した。

校区社協会会長会 第 1 回 視察研修会	
開催月日	平成 29 年 9 月 3 日
内 容	大牟田市総合防災訓練 協働型災害ボランティアセンター設置・運営訓練
場 所	大牟田中央小学校
参加人数	4 名

校区社協会会長会 情報共有・意見交換会	
開催月日	平成 29 年 10 月 10 日
内 容	高取校区の取り組み(見守り活動と災害時協定締結)について
講 師	高取校区社協会会長 坂寺 昭 氏
参加者数	20 名

校区社協会長会 研修会	
開催月日	平成 29 年 12 月 11 日
内 容	手鎌校区における防災の取り組みについて
講 師	手鎌校区社協会長 猿渡 英昭 氏
参加者数	20 名

校区社協会長会 第 2 回 視察研修会	
開催月日	平成 30 年 1 月 14 日
内 容	手鎌校区防災訓練
場 所	手鎌小学校
参加者数	19 名



- ③ 広報部会との協働による校区社協が取り組む地域福祉活動に関する情報発信
福祉だより「きらり」を活用して校区社協会長会だより「つながり」の発行を支援した。
(各号の発行部数：55,000部)

校区社協会長会 広報紙「つながり」の発行	
4月号	平成 29 年度 地域リーダー合同研修会の報告
7月号	新会長の挨拶と新任校区社協会長の紹介
10月号	三池校区福祉座談会について
1月号	天領校区防災運動会について

- ③ 第 9 回大牟田市地域福祉大会～地域支え合い“絆”セミナー～の開催
市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わり、地域住民の「支えあいの“絆”」を創造することを目的に開催した。

実施月日	平成 30 年 2 月 4 日
実施場所	大牟田文化会館 小ホール
実施内容	<p>【第 1 部】 地域福祉の向上に貢献され、他の模範となる個人又は団体に対する表彰状の授与を行うこととその功績を称えた。</p> <p>■大牟田市社会福祉協議会 功労者表彰 (表彰の部) <input type="checkbox"/> 校区社協実践活動者(39 名) <input type="checkbox"/> 優良校区社協(白川校区) <input type="checkbox"/> ボランティア活動者・団体(1 団体)</p>

実施内容	<p>(感謝の部)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 校区社協実践活動者(32名) □ ボランティア活動者・団体(2団体) □ 善意銀行高額寄付者・団体(3団体・7名) □ 地域活動実践者・団体(1団体・4名) ■ 共同募金高額寄付者・団体表彰 <ul style="list-style-type: none"> □ 福岡県共同募金会会長表彰(1名) □ 赤い羽根高額寄付者・団体(13団体・1名) □ 歳末高額寄付団体(4団体)
	<p>【第2部】基調講演 「社会福祉法人とまちづくり～まちづくりと地域公益活動の役割」 〈講師〉 社会福祉法人 甘木山学園 支援部長 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 運営委員長 坂口明夫 氏</p> <p>【第3部】シンポジウム 「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の取り組み ～制度の狭間の課題解決3年目の挑戦」</p> <p>①「社会福祉法人の経験の活用～就労支援の取り組みから…」 社会福祉法人 キリスト者奉仕会 谷山恵一 氏</p> <p>②「社会福祉法人の不動産の活用～緊急時シェルターの取り組みから…」 社会福祉法人 あけぼの苑 夏目 尚 氏</p> <p>③「社会福祉法人の人材の活用～ゴミ屋敷清掃の取り組みから…」 社会福祉法人 それいゆ 井上洋一郎 氏</p> <p>④「社会福祉法人の人材の活用～食糧支援と相談支援の取り組みから…」 社会福祉法人 大牟田市社会福祉協議会 前田佳宏 コーディネーター：坂口明夫 氏</p>
参加人数	約 400 名



第1部 功労者表彰式典



第3部 シンポジウム

③ 地域リーダー合同研修会の開催

校区社協会長会、校区民生委員・児童委員協議会、校区コミュニティ連絡協議会等の各会長と協働し、地域リーダー合同研修会を実施した。現在、地域福祉活動者間の情報共有に課題を抱えている校区が少なくない。加えて、昨今、自然災害を身近に感じる機会も多くなった。そのような中で、各校区が自分の地域の地域福祉活動を踏まえ、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち」に向け、自分たちにも、すぐに取り組むことができることを目指し「災害」をテーマとした研修を実施した。

平成 29 年度 地域リーダー合同研修会 「人と人とのつながりを大切に～助け合いのまちづくり」	
実施月日	平成 29 年 12 月 1 日
実施場所	おおむたハイツ 2 階 芙蓉の間
実施内容	<p>■導入「小地域ネットワーク活動と災害ボランティアセンターによる支え合いとは？」 大牟田市社会福祉協議会 地域福祉担当 藤原良平 // 梅富友望 総合生活支援担当 前田佳宏</p> <p>■基調講演「小地域ネットワークを担うのは誰か？～誰もが助かるために、誰もが暮らしを取り戻すために～」 講 師：日野ボランティアネットワーク 山下弘彦氏</p> <p>■市内実践共有「全員が同じ意識で、出来る人が！出来る事を！出来る時に！」 話し手：くらなが安心ネット 大牟田市役所防災対策室 室長 栗原敬幸 氏 聞き手：山下弘彦 氏、藤原良平</p> <p>■意見交換「誰もが助かるための、誰もが暮らしを取り戻すためのあなたの一步とは？」</p> <p>■まとめ</p>
参加人数	校区社協会長、民児協会長、まち協会長、連協会長、市役所職員、生活支援コーディネーター、市社協職員 等 計 103 名



地域リーダー合同研修会(基調講演)



地域リーダー合同研修会(意見交換会)

(3)ふれあいサロン活動支援事業

①サロン活動助成事業

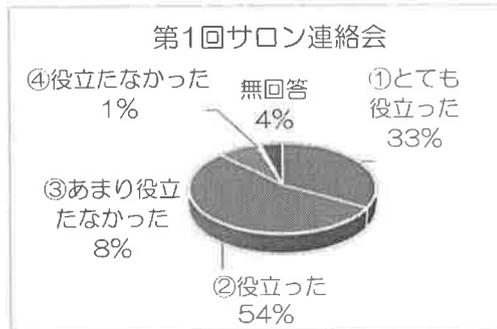
ふれあいサロンとは、ご近所の人達が、みんなで集まりおしゃべり等を楽しむ地域の憩いの場である。気軽に始める“仲間づくり”“生きがいづくり”の活動という要件を満たした登録サロン126カ所に助成金を交付した。

②サロン連絡会の開催

サロン活動の活性化のために、情報の共有や実践の紹介、サロン間の連携を目的として連絡会を開催した。

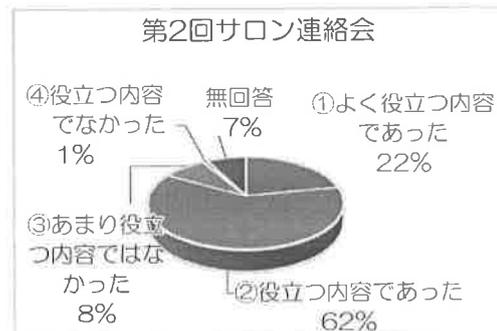
第1回「ボランティア団体の活動内容って? ~サロンで活かせるメニュー体験~」

実施月日	平成 29 年 10 月 25 日(3 回/日)
実施場所	イオンホール
実施内容	ボランティア団体の紹介
講師	マジックよしの塾、すばるハーモニカ、青空ハーモニカ、なつメロ愛好会
参加人数	約 300 名



第2回「みんなが楽しいサロンってどんなサロン?」

実施月日	平成 30 年 2 月 22 日(3 回/日)
実施場所	イオンホール
実施内容	サロン活動における意見交換
講師	日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行氏
参加人数	約 120 名



③ サロン活動拠点の立ち上げ支援

今年度は新たに5カ所のサロンの立ち上げを支援し、登録を行った。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録団体	135	138	138	138	138	138	138	138	138	134	134	134

④レクリエーション用具の貸出

サロン連絡会において、用具の体験と用具一覧表の配布を行い、サロンで活用してもらうため、新たに5種類のレクリエーション用具を追加し、計16種類のレクリエーション用具の貸出を行った。



貸出件数	H28年度	H29年度
サロン貸出件数	52件	83件
前年比	260%	160%

【貸出レクリエーション用具一覧】

1	スキヤキ・ジャンケン	9	たいこ相撲
2	唱歌かるた	10	スマイル射的
3	開運お手玉ボード	11	釣りっこ
4	羽根っこゲーム干支セトラ	12	台風ドカン
5	将棋(小)	13	スポーツ吹き矢
6	囲碁(小)	14	ボールボード GG
7	輪投げ	15	コミュニケーション麻雀
8	神戸ミニヤード	16	グラウンドゴルフセット

(4)住民参加型福祉サービス提供体制充実事業

①おむたキャロットサービス会員の登録・活動の調整

日常生活において、公的サービスでは対応できない生活課題を抱えている一人暮らし高齢者等に対し、サポーター登録した協力会員が生活支援サービスを行った。年々活動件数は増え続け、29年度は2,500件を超えた。一人暮らし高齢者等の在宅生活支援ニーズは年々増大しているため、今後、増え続ける依頼に対応できるよう、協力会員を増やしていかなければならない。

① 会員の登録

区分	H28年度 登録者数	H29年度登録者数			前年度比	
		新規登録者数	退会者数	計		
利用会員	143名	54名	50名	147名	4名増	103%
協力会員	35名	10名	8名	37名	2名増	106%
合計	178名	64名	58名	184名	6名増	103%

② 活動の調整

活動件数	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
件数	1,709件	1,741件	2,184件	2,293件	2,543件
前年度比	118%	102%	125%	105%	111%

③ 活動の種類

家事支援		買物	薬 受取	通院 外出 付添	見守り	話し相手	草とり	ゴミ出し	その他		
掃除洗濯	食事作り								修繕など	その他	産前 産後
1,685	94	207	3	104	3	33	166	4	20	73	151

② 協会の養成講座・研修の実施

① 協会会員交流会の実施

協会会員同士の親睦・連携を深め、活動の充実を図ることを目的として実施した。今年度は、協会会員へ実施したアンケートに基づき、グループワークを行った。利用会員との関わりの中で、また協会会員自身の生活を振り返るなかで、この活動への思いを共有した。加えて、“一人暮らし高齢者のニーズ”について学ぶことにより日頃の活動の充実を図った。



交流会でのグループワーク

実施月日	第1回:平成29年7月28日、第2回:平成29年11月28日
実施場所	総合福祉センター2階 中会議室
実施内容	第1回:活動報告、協会会員アンケートによるグループワーク 第2回:講義「高齢者について」
講師	第2回:福岡県介護福祉士会 会長 因 利恵 氏
参加人数	第1回:協会会員11名、第2回:協会会員21名

② おおむたキャロットサービス協会会員養成講座の実施

キャロットサービスへの依頼増加に対応するために、協会会員の養成に取り組んだ。今年度も昨年度同様、キャロットサービス協会会員だけでなく、同じボランティア精神に支えられた日常生活自立支援事業の生活支援員とファミリー・サポート・センターの協会会員の養成を「市民サポーター養成講座」として行った。

そのため内容としては、基礎講座・実践講座の2種類を設定し、市民サポーター希望者は全員基礎講座を受講した上で実践講座を選択して、希望する市民サポーターとして活動していただくことを目指した。

キャロットサービス協会会員としては8人の登録があったが、他のサポーターへの登録もあった。今後も講座の内容やあり方等を検討しながら、市民の方々が興味を持ち、参加しやすい講座を実施していくこととしたい。

市民サポーター養成講座(基礎講座)		
実施月日	実施内容	人数
平成29年8月22日	第1回「ボランティアについて」 講師:筑紫女学園大学 社会福祉コース 教授 山崎安則 氏	20名
平成29年8月24日	第2回「各事業紹介・実践報告」 講師:各事業市民サポーター、大牟田市社会福祉協議会職員	19名

市民サポーター養成講座(実践講座)		
実施月日	実施内容	人数
平成 29 年 8 月 29 日	第1回「傾聴を学ぶ」 講師：再評価カウンセリング 九州エリア代表 宮崎由紀子 氏	23 名
平成 29 年 8 月 31 日	第2回「子どもについて」 講師：くぬぎ保育所主任保育士	16 名
平成 29 年 9 月 5 日	第3回「幼児安全法（子どものケガと病気の手当）」 講師：日本赤十字社福岡県支部 坂本峰子 氏	19 名
平成 29 年 9 月 7 日	第4回「高齢者・障がい者について」 講師：大牟田市社会福祉協議会職員	14 名
平成 29 年 9 月 8 日	第5回「子どもの心と体の発達について」 講師：誠修高校 多田隈清美 氏	15 名
平成 29 年 9 月 12 日	第6回「助け合いについて」 講師：NPO法人地域たすけあいの会理事 田中将太 氏	14 名

(5)災害ボランティア活動環境整備事業

①災害ボランティアセンターの運営支援に係る職員派遣

平成29年7月に朝倉市を中心に甚大な被害をもたらした、九州北部豪雨災害支援活動に取り組んだ。福岡県社協からの災害ボランティアセンター運営支援の応援要請に応え、以下のとおり職員を派遣した。

クール	派遣期間	実施内容	人数	延日数
第 3	平成 29 年 7 月 18 日～7 月 21 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	1 名	4 日
第 4	平成 29 年 7 月 21 日～7 月 24 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	1 名	4 日
第 5	平成 29 年 7 月 24 日～7 月 27 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	1 名	4 日
第 7	平成 29 年 7 月 30 日～8 月 2 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	1 名	4 日
週末	平成 29 年 7 月 29 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	1 日
週末	平成 29 年 7 月 30 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	1 日
週末	平成 29 年 8 月 5 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	2 名	2 日
第 10	平成 29 年 8 月 8 日～8 月 11 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	1 名	4 日
第 11	平成 29 年 8 月 11 日・12 日・16 日・17 日	東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト	2 名	8 日
第 19	平成 29 年 9 月 5 日～9 月 6 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	2 日
第 21	平成 29 年 9 月 10 日～9 月 12 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	3 日
第 24	平成 29 年 9 月 19 日～9 月 20 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	2 日
第 25	平成 29 年 9 月 22 日～9 月 25 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	4 日
第 26	平成 29 年 9 月 26 日～9 月 28 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	2 名	6 日
第 27	平成 29 年 9 月 30 日～10 月 1 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	4 名	8 日
第 29	平成 29 年 10 月 13 日	朝倉市災害ボランティアセンター 杷木サテライト	1 名	1 日
計			22 名	58 日



ボランティア受付の様子



オリエンテーションの様子

② 平成29年7月5日からの大雨水害義援金の募集

受付期間	受付場所	名称	受付金額	受付件数
平成 29 年 7 月 10 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	総合福祉センター 1 階	福岡県	2,272,252 円	41 件
		大分県	3,602 円	1 件

③ ボランティア活動保険特設コーナーの設置

九州北部豪雨災害に際し、被災地でのボランティア活動を支援するために、平成29年7月10日に総合福祉センター1階にボランティア活動保険特設コーナーを設置した。保険に加入する際、災害ボランティア活動の心得や被災地情報などのオリエンテーションを実施した。延375名を受け付けた。



ボランティア保険特設コーナー

④ 災害支援物資の提供

平成29年7月10日、一般社団法人大牟田青年会議所からの協力呼びかけに応じて、本会ならびに法人として参加している大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会で、朝倉市災害ボランティアセンターで必要となる資機材を提供した。（別掲P37）

(6) 協働型災害支援体制強化事業

① 災害ボランティア活動の促進

九州北部豪雨災害の被災地支援のため、大牟田市や大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会と共催でボランティアバスを運行した。

災害ボランティアバスの運行(共催：大牟田市)	
実施月日	① 第1回：平成29年8月3日 ② 第2回：平成29年8月21日
実施場所	① 東峰村災害ボランティアセンター宝珠山サテライト ② 朝倉市災害ボランティアセンター杷木地区
実施内容	ボランティアを募集し、ボランティアの移動を支援するとともに、被災地において家屋の泥だし等の活動を行った。
参加人数	① 第1回：22名(ボランティア20名：高校生14名、大人6名・ 随員職員2名：大牟田市1名、市社協1名) ② 第2回：28名(ボランティア25名：大学生9名、大人16名・ 随員職員3名：大牟田市1名、市社協2名)

災害ボランティアバスの運行(共催:大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会)	
実施月日	① 第1回:平成29年9月21日 ② 第2回:平成29年9月30日 ③ 第3回:平成29年10月20日
実施場所	朝倉市災害ボランティアセンター杷木地区
実施内容	ボランティアを募集し、ボランティアの移動を支援するとともに被災地において、家屋の泥だし等の活動を行った。
参加人数	① 第1回:15名(ボランティア14名:一般5名、社会福祉法人地域公益活動協議会9名・随員職員1名:市社協1名) ② 第2回:30名(社会福祉法人地域公益活動協議会1名・ありあけ新世高校29名:生徒24名、教諭5名) ③ 第3回:21名(一般8名、社会福祉法人地域公益活動協議会13名)

②災害支援ボランティアセンター設置運営訓練の実施

大牟田市総合防災訓練の一環として、災害ボランティアセンターの立ち上げから運営までを訓練し、災害ボランティアセンターの仕組みや役割に対する理解を深めた。加えて、今年度は、大牟田中央校区における要配慮者の安否確認及び避難支援訓練を実施した。

大牟田市総合防災訓練における「協働型災害ボランティアセンター設置運営訓練」 「要配慮者安否確認及び避難支援訓練」	
実施月日	平成29年9月3日
実施場所	大牟田中央小学校 ※防災訓練は笹林公園
実施内容	災害ボランティアセンターの立ち上げ準備及びボランティアコーディネート (要援護者の安否確認・避難支援も含む)
参加人数	68名(大牟田市社会福祉協議会、大牟田中央校区まちづくり協議会、大牟田市校区社会福祉協議会会長連絡協議会、一般社団法人大牟田青年会議所、大牟田市ボランティア連絡協議会、エフコープ生活協同組合、市民協働部)



災害ボランティアセンター訓練の様子



安否確認及び避難支援訓練の様子

③ 防災運動会への参画

「防災運動会」は、障がい者と地域住民が協力し、地域住民一体となって防災に関連した競技を行う中で、身近な防災意識を高揚させること、また障害があっても協働できることを周知してもらうことを目的とし、競技を楽しみながら防災の知識を身に付ける運動会である。今年度は、下記の校区の防災運動会に参加した。特に駿馬北校区における防災運動会には、ボランティア連絡協議会と共に、事前準備や、当日スタッフとして、複数の職員を派遣した。

校区	開催日
天領校区	平成 29 年 11 月 5 日
駿馬北校区	平成 29 年 11 月 26 日



駿馬北校区防災運動会・大声競争の様子

④ 災害支援コーディネータ力の強化

災害時の関係団体との連携の強化のための体制づくりをおこなった。また、災害ボランティアセンターを運営する上で必要なコーディネーション力の強化に取り組んだ。

被災者中心・地元主体の協働型災害支援体制強化研修

実施月日	平成 30 年 3 月 23 日
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	「なぜ協働型の災害ボランティアセンターが必要なのか」
講師	全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 園崎 秀治 氏 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李仁鉄 氏
参加人数	30 名(市関係課、地域包括支援センター、大牟田青年会議所、社協職員等)

(7) 地域支え合い推進における第 2 層生活支援コーディネーターとの連携

誰もが在宅生活を安心して継続できるよう、住民等による生活支援活動や生活支援サービスをより充実させるため「地域支え合いマップづくり」「地域リーダー合同研修会」「ふれあいサロン連絡会」「協働型災害支援体制強化研修」などの取組みにおいて、地域包括支援センターに配置されている第2層生活支援コーディネーターと連携した。

(8) 共同募金等を活用した支え合い活動の推進事業

① 福岡県共同募金会大牟田市支会との連携

❶ 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動

地域福祉推進のための貴重な財源である「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。今年度についても、具体的な大牟田での使いみちを表した「ミニチラシ」を広く配布したり、地域のコミュニティ放送局「FMたん」とでのPRを行うなど、用途の透明化を図った。

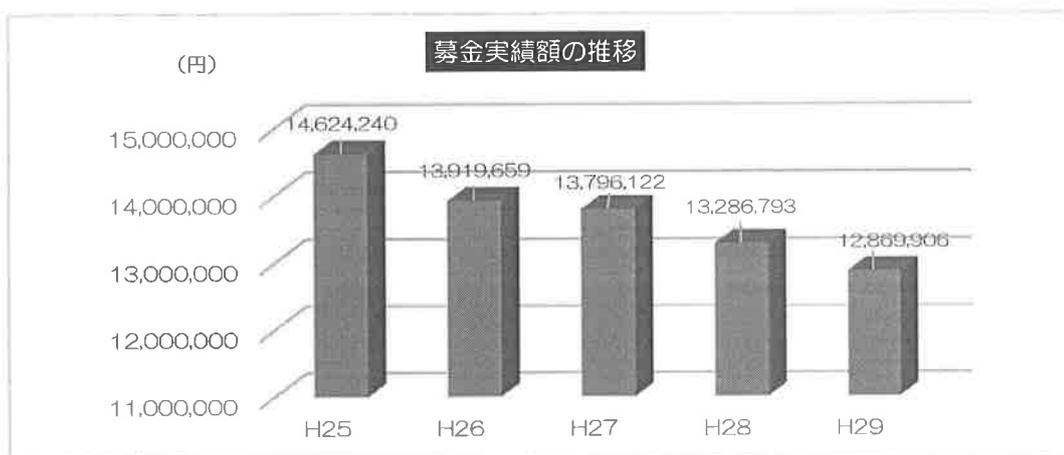


歳末たすけあい募金運動の様子

【赤い羽根共同募金(運動期間：10月1日～12月31日)】

(単位：円)

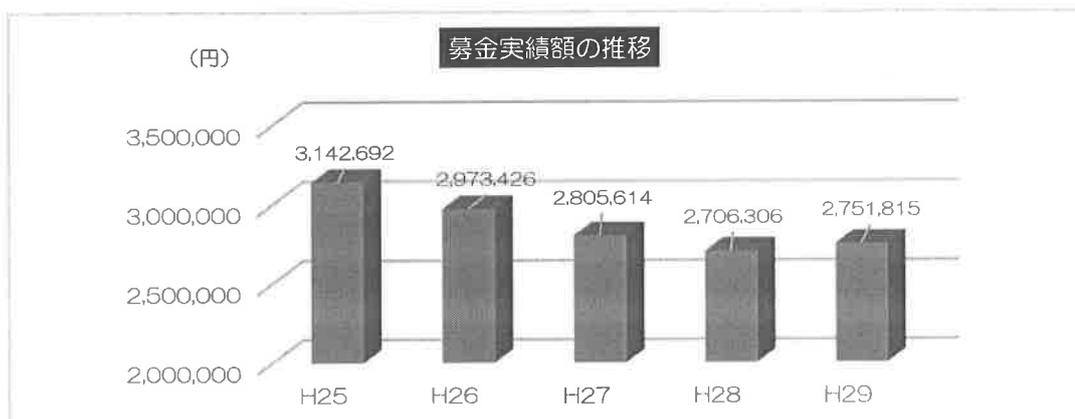
実績額	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
募金額	14,624,240	13,919,659	13,796,122	13,286,793	12,869,906
前年度比	101%	95%	99%	96%	97%



【歳末たすけあい募金(運動期間：12月1日～12月31日)】

(単位：円)

実績額	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
募金額	3,142,692	2,973,426	2,805,614	2,706,306	2,751,815
前年度比	92%	95%	94%	97%	102%



② 福岡県共同募金会指定モデル事業の実施

共同募金の継続的な応援者(寄付者)を増やすとともに、募金実績の向上を図ることを目的に、福岡県共同募金会からモデル指定を受け、中友小学校5年生を対象に「寄付の教室」を開催した。子どもたちは寄付の模擬体験を通して、基本的な知識を学んだ上で、一番身近な「寄付」の一つである「共同募金活動」において、実際に街頭募金を行い、人の思いやりやおたがいさまという温かい気持ちに触れることができた。さらに、集まった募金の約7割が大牟田市に配分され、地域の見守り訪問活動やサロン活動、学校における福祉教育など、身近な福祉活動に活用されていることを学習した。



寄付の教室の様子



街頭募金の様子

③ 街頭キャンペーン等広報活動

実施月日	実施場所	参加者
平成 29 年 10 月 1 日	ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、 大牟田市社会福祉協議会役員
平成 29 年 12 月 1 日	大牟田駅 ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、 大牟田市社会福祉協議会役員

④ FMたんとでの広報活動

実施月日	内容
平成 29 年 9 月 20 日	赤い羽根共同募金運動と用途について
平成 29 年 11 月 30 日	歳末たすけあい募金運動と用途について

⑤ 法人募金の実績

実績額	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
法人数(社)	390	406	406	394	440
募金額(円)	2,375,400	2,330,021	2,320,956	2,203,006	2,441,803
前年度比	118%	98%	100%	95%	110%

⑥ 寄付つき商品等の販売実績

寄付つき商品のプロジェクト「募金百貨店おおむた」に、今年度は28の企業・団体の参加があり、募金への協力を頂いた。

実績額	H27年度	H28年度	H29年度
募金額(円)	318,795	160,366	166,880
前年度比	123%	50%	104%

⑦ 赤い羽根自動販売機の設置及び実績

大牟田市支会の特徴的な取り組みの一つである飲料水の売り上げの一部が寄付される「赤い羽根自動販売機」を、市内に50台設置している。

実績額	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
設置台数	17	50	51	50	50
募金額(円)	608,861	922,509	967,393	895,088	856,232
前年度比	122%	151%	105%	93%	96%

⑧ 街頭募金の実施支援

運動期間中に、様々な団体が市内各所で街頭募金を実施し、周知啓発を行った。

【赤い羽根共同募金】

実施月日	実施場所	実施団体名
平成 29 年 10 月 1 日	ゆめタウン	支会（大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市 支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会役員）
	イオンモール	
平成 29 年 10 月 1 日	マミーズ勝立店	天の原校区社協
	ミスターマックス	
平成 29 年 10 月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協
平成 29 年 10 月 13 日	マルショク吉野店他	吉野校区社協
平成 29 年 10 月 14 日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会
平成 29 年 10 月 15 日	ゆめタウン	ボーイスカウト大牟田第3団
平成 29 年 10 月 17 日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会
平成 29 年 10 月 27 日	文化会館 <small>（高齢者いきいき祭りにおいて）</small>	大牟田市老人クラブ連合会
平成 29 年 10 月 31 日	ゆめタウン	白川校区社協
平成 29 年 11 月 7 日	マルエイ大牟田店	天の原校区社協
平成 29 年 11 月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協・子ども民生委員
平成 29 年 11 月 12 日	ゆめタウン	大牟田中央校区まちづくり協議会
平成 29 年 11 月 14 日	ゆめタウン	白川校区社協
平成 29 年 11 月 20 日	手鎌地区公民館 <small>（文化祭会場において）</small>	手鎌校区社協
平成 29 年 11 月 22 日	イオンモール	大牟田高等学校
平成 29 年 11 月 23 日	ダイレックス歴木店	高取校区社協
平成 29 年 11 月 26 日	マミーズ羽山台店	羽山台校区まちづくり協議会
平成 29 年 12 月 1 日	マミーズ勝立店	天の原校区社協
	ミスターマックス	
平成 29 年 12 月 2 日	ゆめタウン	大牟田市身体障害者福祉協会連合会

【歳末たすけあい募金】

実施月日	実施場所	実施団体名
平成 29 年 12 月 1 日	JR 大牟田駅・ゆめタウン	支会（大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市 支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会役員）
	イオンモール	
平成 29 年 12 月 7 日	くらし館・新鮮市場サカイ	銀水校区民児協
平成 29 年 12 月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協
平成 29 年 12 月 10 日	ゆめタウン	ボーイスカウト大牟田第3団
平成 29 年 12 月 16 日	JR 大牟田駅・ゆめタウン	明光学園高等学校
平成 29 年 12 月 19 日	ゆめタウン	白川校区社協
平成 29 年 12 月 22 日	ゆめタウン	市社協職員

⑨ 災害義援金の受付

受付期間	受付場所	名称	受付金額	受付件数
平成 28 年 4 月 15 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	共同募金会 大牟田市支会	熊本地震	4,386,341 円	102 件
平成 29 年 7 月 10 日～ 平成 30 年 3 月 31 日		九州北部 豪雨	2,275,854 円	42 件

② 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金からの助成

各団体からの助成金申請を共同募金配分委員会で審査し、平成30年度事業として総額 9,305,200円の助成先を決定した。

① 福祉教育推進校への助成 (9校)

(単位：円)

No.	学校名	事業名	助成額
1	倉永小学校	地域との連携・交流を通じた福祉教育	100,000
2	玉川小学校	体験からの学び(自然・ひと・もの・ことを大切にする教育)	50,000
3	手鎌小学校	郷土学習を中心とした福祉教育	36,000
4	中友小学校	高齢者・園児との交流や地域と連携した福祉教育	75,000
5	羽山台小学校	高齢者および障害のある人との交流を通じた福祉の心を育む教育	45,000
6	駿馬小学校	地域との連携による福祉の心を育む福祉教育事業	42,500
7	歴木中学校	安心して長生きできる社会を目指して	61,000
8	橘中学校	総合的な学習の時間と校内環境美化活動	32,500
9	明光学園中学校・ 高等学校	地域の方々と女子中高生とのスマイル福祉交流活動	104,011
計			546,011

② 福祉団体等への助成 (12団体)

(単位：円)

No.	団体名	事業名	助成額
1	大牟田市身体障害者 福祉協会連合会	社会参加促進事業	200,000
2	大牟田市ボランティア 連絡協議会	連絡協議会活動推進事業 (研修・交流・広報の発行等)	64,000
3	大牟田要約筆記の会 のぞみ	難聴者の交流・学習の場づくりと啓発活動	50,000
4	大牟田朗読の会	朗読・情報発信などに関する研修会	50,000
5	大牟田手話の会 「ありあけ」	聞こえない人との地域防災のための研修会	40,000
6	大牟田市 老人クラブ連合会	教養事業(各種研修・会報誌の発行等)	155,000
7	NPO法人 つなぎ te おおむた	市民の災害対応力アップ事業	60,000
8	NPO法人 大牟田 障害者応援センター	多目的トイレマップの作成	120,000
9	NPO法人 大牟田市 母子寡婦福祉会	母と子のふれあい事業	100,000
10	NPO法人 大牟田市障害者協議会	第40回ふれあいパラリンピック&サン・アビまつり	100,000
11	NPO法人 ともしび会	精神障害者等の社会参加促進事業	111,900
12	NPO法人 大牟田 知的障害者育成会	障がい者施設見学研修	204,120
計			1,255,020

③ 助成金総額

(単位：円)

助成先	助成額
福祉教育推進校	546,011 円
福祉団体・ボランティア団体・NPO団体	1,255,020 円
大牟田市社会福祉協議会地域福祉事業費	1,455,769 円
校区社会福祉協議会活動費	6,048,400 円
合 計	9,305,200 円

【基本目標 3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり 専門機関や住民と連携・協力し生活課題の解決を促進します。

(1)生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

①自立相談支援事業

①相談経路

新規相談件数は338件。生活保護世帯63件を加えると、年間401件の相談があり、月平均33件の相談となる。相談経路は、約半数（全体の51.8%）は「本人」からの直接相談、次に「専門機関・専門職」（30.2%）「家族・親戚・知人」（13.9%）と続いている。昨年度と比較すれば「専門機関・専門職」の割合が増加している。

②年代及び相談内容

年代別の割合は、40歳代からの相談が15.1%、50歳代からが13.6%と働ける年代の相談が多くなっている。特に50歳代は、離職後再就職が難しい状況があった。70歳代・80歳代からは医療費や生活支援の相談が多くなっている。

③スクリーニング結果

スクリーニング結果については、今年度も「専門機関等へのつなぎ」が相談件数の半分以上（53.6%）を占めている。また、新規プラン策定件数は40件。短期の支援も多く、プランにつながる件数は少ないが、情報提供・相談対応についても社会資源について調整や交渉をしたりしている場合も多く、また専門機関へのつなぎと同じように同行支援等を行っている。プラン策定以外のケースについても定期連絡等を行っている。

④専門機関へのつなぎ先

全体の58.5%を本会事業につないでいる。11月にグリーンコープと食糧支援の協定、後見センターや市営住宅管理センター等の協力により中古家電製品のストックができ、本会で対応できるケースが増えている。

つなぎ先 ※重複有り	件数	つなぎ先 ※重複有り	件数
キャロットサービス	62件	司法書士	2件
生活福祉資金	28件	ボランティアセンター	1件
大牟田市保健福祉部 保護課	25件	大牟田市社会福祉協議会 福祉サービス担当	1件
大牟田市社会福祉協議会 (食料、家電等)	21件	学習支援	1件
大牟田市社会福祉法人 地域公益活動協議会	15件	成年後見センター	1件
家計相談支援機関	13件	大牟田市都市整備部建築指導課	1件
日常生活自立支援事業	6件	消費生活センター	1件
地域包括支援センター	5件	居宅介護支援事業所	1件
無料又は低額診療事業	5件	民生委員・児童委員	1件
障害者相談支援事業所	4件	ライフサポートセンター	1件
不動産会社	3件	よろず相談員	1件
医療機関	2件	ハローワーク	1件

⑤ 相談窓口の周知

全戸配布の社協だより「きらり」及び事務局通信「きらり」に加え、生活支援相談室 Facebookとメールアドレス開設。また、ラジオ「FMたんと」において、生活支援相談室のPRを行った。

⑥ グリーンコープ生活協同組合ふくおか・大牟田市社会福祉協議会の協定締結

相談を受ける中で、食べるものにも困る人が多くいることが分かり、これまでも大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会と連携し、食糧の提供等を行ってきた。

11月、グリーンコープ生活協同組合ふくおかが実施する「フードサポート事業」より食糧の提供を受ける協定を締結し、課題を抱える人に提供した。



② 住居確保給付金事業

住居確保給付金は、離職者であって就労能力・就労意欲のある人の中で、住宅を喪失しているか、喪失するおそれのある人に対して、家賃相当額を支給することにより、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的としている。

この事業を実施するに当たっては、市健康長寿支援課やハローワークと連携し、「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用した就労支援や、必要に応じて本会が窓口である生活福祉資金貸付事業を併用しながら、当事者の支援にあたった。

実績件数	相談件数	申請件数	支給決定件数
H29年度	7件	2件	2件
H28年度	5件	2件	2件

③ 学習支援事業

低所得世帯や不登校の中学生等を対象に、市内3カ所において、学習支援を行い、進学等の支援や悩み事の相談を受けた。

① 実施場所・時間 ※「縁側ひらばる」は、特定非営利活動法人コレクティブに委託

実施場所	実施時間
手鎌地区公民館	毎週木曜日 18:00～20:00(第5木曜日を除く)
三川地区公民館	毎週木曜日 18:00～20:00(第5木曜日を除く)
地域の縁側ひらばる	毎週土曜日 10:00～15:00

② 参加者・ボランティア (平成30年3月31日現在)

実施場所	手鎌地区公民館	三川地区公民館	地域の縁側ひらばる
登録者数 (中学生)	29年度	26名	8名
	28年度	20名	6名
登録者数 (小学生)	29年度	5名	11名
	28年度	4名	7名
年間参加者数	延411名	延348名	延142名
ボランティア数	29年度	7名	6名
	28年度	10名	7名

③ 学習支援ボランティア会議

実施月日	第 1 回：平成 29 年 6 月 29 日 第 2 回：平成 29 年 12 月 19 日 第 3 回：平成 30 年 3 月 29 日
実施場所	総合福祉センター
実施内容	実績報告、情報共有、今後についての意見交換
参加人数	第 1 回：ボランティア 10 名、市職員 3 名、社協職員 4 名 第 2 回：ボランティア 9 名、市職員 3 名、社協職員 3 名 第 3 回：ボランティア 11 名、市職員 3 名、社協職員 4 名

④ 就労準備支援事業

ひきこもり等の理由ですぐに一般就労が難しいと思われる人に対し、「生活習慣形成のための生活自立支援」「就労の前段として必要な社会的能力の習得のための社会的自立支援」「一般就労のための基礎能力を身につける就労自立支援」等段階に応じた支援を行った。

① 相談内容

新規相談件数は 14 件。資産や収入等利用要件に該当しない場合や、利用までに時間がかかるため、プログラム作成件数は 3 件と少なかったが、外に出て来れるまで継続的な訪問や電話、手紙でやり取りをする等じっくり時間をかけ支援をしている。

② 就労体験先確保

大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会加盟法人や工場等 9 カ所の受け入れ協力事業所を確保。今後も引き続き開拓をしていく。

③ 周知・啓発活動

就労準備に関する講演会を開催。

実施月日	平成 30 年 3 月 19 日
実施場所	イオンホール
内 容	<p>1. 基調講演 「はたらくってすばらしい ～お金だけじゃないはたらく価値とは…抱樸の取組から～」 講師：認定 NPO 法人 抱樸 中間あやみ 氏</p> <p>2. シンポジウム 「多様なはたらくをささえる～ささえる現場から～」 筑後若者サポートステーション 坂田栄輔 氏 障害者就労・自立支援センターたんぼぼ 施設長 谷山恵一 氏 大牟田市社会福祉協議会 生活支援相談室 相談員 櫻井明日香</p> <p>3. ミニ相談会</p>
参加人数	30 名



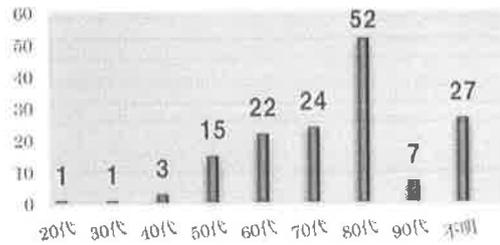
(2) 大牟田市成年後見センター運営事業（市受託事業）

平成26年4月より、大牟田市からの委託を受け、本会は、大牟田市成年後見センター（以下「センター」）を設置した。センターは、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を擁護し、支援するための法制度である成年後見制度の利用促進を図るとともに、市民後見人の養成・活用を行うことで、地域でその人らしく安心して暮らせるよう支援することを目的にセンター運営事業を実施した。

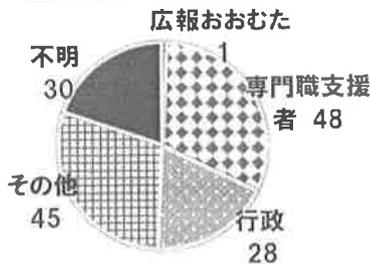
① 成年後見制度の利用や権利擁護に関する相談・助言及び対応

センターの初回相談者数は152件（実人数）。相談対象者、相談経路、相談内容等別の傾向としては次のとおり。また、初回相談数のうち、初回のみでの終結件数73件、継続支援件数79件で、継続支援の延回数414回となった。

相談対象者 年齢別



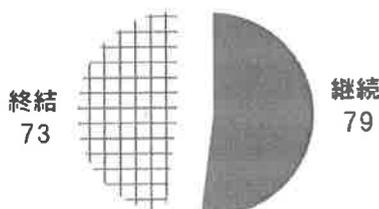
初回相談 相談経路



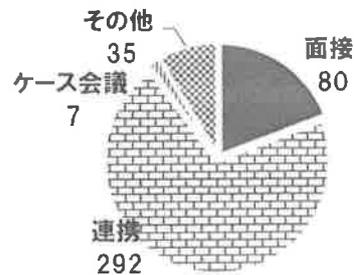
初回相談 相談別内容



初回相談 <対応結果別>



継続相談 <支援内容別>



② 市民後見人の養成、登録

成年後見活用講座	
目的	より多くの人成年後見制度を学び、活用できるようになることで、地域社会における権利擁護の推進を図る。
開催日	①平成 29 年 5 月 16 日～平成 29 年 6 月 13 日（全 5 回） ②平成 29 年 7 月 13 日～平成 29 年 8 月 10 日（全 5 回）
会場	総合福祉センター 2 階 中会議室
参加者	①受講生 24 名、修了生 21 名 ②受講生 17 名、修了生 14 名

市民後見人実務養成講座	
目的	地域社会における権利擁護の推進を図るために、市民後見人登録申請および活動を前提とした人材を養成する。
開催日	平成 29 年 9 月 12 日～平成 29 年 11 月 14 日（全 10 回）
会場	総合福祉センター 2 階 中会議室
参加者	受講生 11 名、修了生 11 名

市民後見人実務者講座	
目的	市民後見人登録者の資質の向上と次年度の登録更新における必須の更新研修として開催。
開催日	平成 30 年 1 月 24 日
会場	総合福祉センター 2 階 大会議室
参加者	受講対象者 23 名、受講者 20 名

市民後見人の登録(第 5 期生の登録)		
目的	本会で受任している被後見人等への支援者として活動する市民後見人登録者を選考・登録する。	
平成 29 年 11 月 14 日	市民後見人登録申請に関するオリエンテーション	説明者：11名
平成 29 年 11 月 30 日	市民後見人登録申請 締切	申請者：10名
平成 29 年 12 月 19 日	平成29年度 市民後見人選考 第1回選考登録部会〔選考会の結果について協議〕	
平成 30 年 1 月 20 日	市へ暴力団排除措置に関する照会依頼	
平成 30 年 2 月 9 日	市から暴力団排除措置に関する照会結果確認	
平成 30 年 2 月 14 日	市民後見人登録申請者へ可否を通知	登録可：10名
平成 30 年 2 月 23 日	市民後見人登録手続き 完了	登録者：10名

③ 市民後見人活用による法人後見受任及び市民後見人活動の支援

法人後見総受任件数	市民後見人活動件数	市民後見人活動人数
45 件（後見 35、保佐 9、補助 1）	19 件	15 名

④ 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

① 出前講座の実施：9件

実施日	主催者・対象者	参加者数
平成 29 年 4 月 1 日	主催：歴木保育所 対象：職員、園児家族	約90名
平成 29 年 4 月 3 日	主催：広瀬公民館 対象：地域住民	約20名
平成 29 年 5 月 16 日	主催：なごみ元気塾 対象：なごみ元気塾参加者	約15名
平成 29 年 11 月 22 日	主催：おおむたコスモスの会 対象：おおむたコスモスの会参加者	約20名
平成 30 年 1 月 13 日	主催：認知症ライフサポート研究会 対象：認知症コーディネーター養成研修受講生	約20名
平成 30 年 1 月 18 日	主催：小規模多機能ひらばるの家 対象：職員	約25名
平成 30 年 1 月 20 日	主催：障害者就労・自立支援センターたんぽぽ 対象：利用者	5名
平成 30 年 2 月 5 日	主催：地域包括支援センター 対象：地域包括支援センター職員等	約50名
平成 30 年 3 月 27 日	主催：木村内科 対象：職員	約40名

② 成年後見啓発フォーラムの実施

実施月日	平成 30 年 2 月 16 日
実施場所	イオンホール
実施内容	「知っておきたい！終活のあれこれ ～成年後見制度を通して考える素敵な人生の過ごし方～」
参加人数	約 160 名



成年後見フォーラムの様子



市民後見人実務者講座の様子

③ 成年後見センター運営管理委員会・受任検討委員会の設置及び開催

運営管理委員会	後見センター事業の適正な運営を管理・監督を目的として全3回開催
受任検討委員会	市民後見人の活用を前提に法人受任することの協議を目的として全13回開催
選考登録部会	後見センターが養成した市民後見人登録候補者を適正に選考・登録を目的として1回開催
執務管理部会	後見センターに登録した市民後見人の活動が円滑に実施されるよう監督・指導・助言を目的として全12回開催
成年後見ラウンド会議	成年後見制度の円滑な運用に必要な体制整備についての協議を目的として全3回開催

(3) 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分なため、日常生活に困っている人たちに対して支援計画を作成し、生活支援員を派遣し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行った。

昨年と比べ、利用者は減少しているが、支援回数及び相談件数は増加していることより、本事業の認知度、必要性は高まっていると思われる。

権利擁護についての講義や事例検討を通して、事業への理解や生活支援員同士の交流を深め、よりよい援助ができることを目的とした研修を年2回実施した。

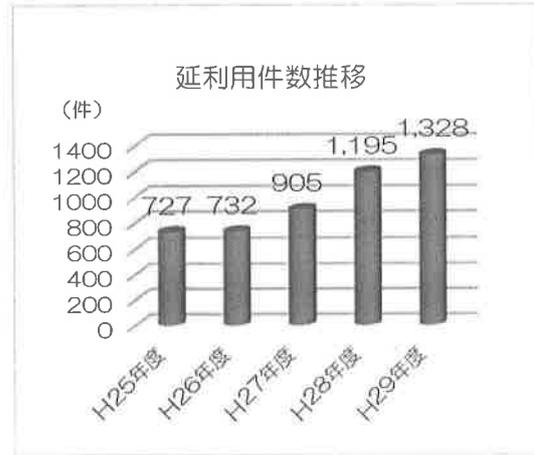
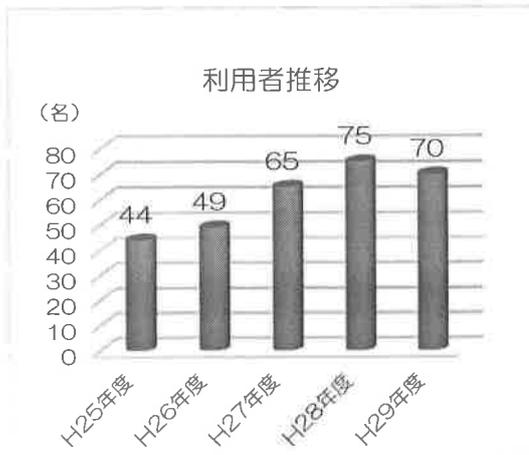
①生活支援員研修会

生活支援員事務説明会	
実施月日	平成 29 年 5 月 30 日
実施内容	事務説明・講義「権利擁護と日常生活自立支援事業」・事例検討
参加者	18 名

生活支援員研修会	
実施月日	平成 30 年 3 月 7 日
実施内容	感染症対策・事例検討
参加者	24 名

②日常生活自立支援事業

実績件数	利用者数	相談件数	延利用件数	生活支援員
H29 年度	70 名	77 件	1,328 件	43 名
前年度比	93%	137%	111%	95%



(4)生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者、高齢者及び障がい者等の世帯に対して、生業、住宅、災害、福祉、就学、緊急小口、離職者等の各種資金の貸付相談の受付を行い、ケースによっては民生委員の協力を得ながら、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行った。

実績件数	相談件数	貸付決定件数	延滞利子支払免除申請件数	償還猶予申請件
H29 年度	135 件	39 件	1 件	2 件
前年度比	101.5%	86.7%	100%	(前年 0 件)

(生活福祉資金貸付状況)

	H27年度		H28年度		H29年度	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
生活支援費	1	54	1	600	1	600
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	1	284	0	0	0	0
福祉費	6	3,815	2	669	7	4,934
福祉費 (生活保護世帯)	5	367	13	961	11	877
緊急小口	16	1,503	13	1,227	14	1,352
教育支援費	6	9,790	14	25,762	5	4,396
就学支度費	4	855	1	252	1	205
その他	0	0	0	0	0	0
合計	39	16,668	44	29,471	39	12,364

(5)大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会への参加・連携・協働

平成27年5月に16法人にて創設した大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会も3年を迎えることになった。同年9月に、「生活困窮者レスキュー事業」を発足させ、これまで中々解決できなかった“制度の狭間”となる福祉課題を、スピードをもって解決にあたった。平成29年度末で25法人の加盟となった。

①年間活動報告

日程	主な活動内容
平成 29 年 4 月 2 日	・ゴミ屋敷清掃活動（三池校区）
平成 29 年 4 月 4 日	・社会福祉法人 白鷺福祉会加入
平成 29 年 4 月 5 日	・社会福祉法人 三川福祉会加入
平成 29 年 4 月 10 日	・社会福祉法人 萩尾福祉会加入
平成 29 年 4 月 18 日	・第1回 役員会（事業計画・予算、事業報告・決算、役員改選等）
平成 29 年 4 月 19 日	・平成28年度 監査
平成 29 年 4 月 28 日	・平成29年度総会（事業計画・予算、事業報告・決算、役員改選、監査報告等）
平成 29 年 5 月 22 日	・第1回 運営委員会（ゴミ屋敷清掃活動の相談、就労体験支援の経過報告等）
平成 29 年 6 月 13 日	・第2回 運営委員会（職場説明会、シェルター確保等）
平成 29 年 6 月 14 日	・社会福祉法人 依修多羅福祉会加入
平成 29 年 7 月 8 日	・「おおむた福祉の職場説明会2017」開催 …イオンホール
平成 29 年 7 月 10 日	・朝倉市災害ボランティアセンターへの資機材の提供・搬出
平成 29 年 7 月 11 日	・ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成研修（筑後ブロック）において 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会事例報告
平成 29 年 7 月 15 日	・社協広報紙夏号（全世帯配布）…社福公益協活動を紹介
平成 29 年 7 月 28 日	・第3回 運営委員会（シェルター利用及び就労体験受入れの際の費用負担等）
平成 29 年 8 月 20 日	・ゴミ屋敷清掃活動（羽山台校区）
平成 29 年 8 月 24 日	・大牟田市介護支援専門員連絡協議会研修会 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告
平成 29 年 9 月 9 日	・社会福祉法人 あげぼの会夏季研修会 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告

日 程	主な活動内容
平成29年 9月 12日	・市民後見人実務養成講座 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告
平成29年 9月 21日	・朝倉市災害支援ボランティアバス運行・災害支援（公益協職員・市民ボランティア）
平成29年 9月 22日	・第2回 役員会（上半期実績報告等）
平成29年 9月 30日	・朝倉市災害支援ボランティアバス運行・災害支援（ありあけ新世高校）
平成29年10月 1日	・社協広報紙秋号（全世帯配布）…社福公益協活動を紹介 ・コンパクトなまちづくりシンポジウム 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告
平成29年10月 20日	・朝倉市災害支援ボランティアバス運行・災害支援（公益協職員・市民ボランティア）
平成29年11月 10日	・下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会 心くし生活SOS事業研修会 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告
平成29年12月 5日	・第4回 運営委員会（つなぎ資金貸付の相談、地域福祉大会打合せ）
平成29年12月 26日	・ゴミ屋敷清掃活動（みなと校区）
平成30年 1月 11日	・社会福祉法人 しらぬい福祉会加入
平成30年 1月 11日	・社会福祉法人 みずほ保育園加入
平成30年 1月 15日	・社協広報紙冬号（全世帯配布）…社福公益協活動を紹介
平成30年 2月 4日	・大牟田市地域福祉大会～地域支え合い“絆”セミナー～ 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告
平成30年 3月 10日	・社会福祉法人 防府市社会福祉協議会地域セミナー 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告
平成30年 3月 20日	・第5回 運営委員会（平成30年度事業計画・予算案）
平成30年 3月 23日	・社会福祉法人 直方市社会福祉協議会地域セミナー 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会実践報告

② 生活困窮者レスキュー事業実績報告

① 食糧支援…生活保護受給等や貸付金が出るまでのつなぎとして食糧支援を実施した。

月 別	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	上半期(A)	
食材提供	4件	8件	13件	114件	48件	54件	241件	
	16食	32食	52食	456食	192食	214食	962食	
配食サービス	4件					9件	13件	
	8食					17食	25食	
	8件	8件	13件	114件	48件	63件	254件	
合 計	24食	32食	52食	456食	192食	231食	987食	
月 別	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	下半期(B)	合計(A)+(B)
食材提供	31件	183件	114件	161件	157件	113件	759件	1,000件
	122食	731食	455食	643食	625食	454食	3,030食	3,992食
配食サービス	4件						4件	17件
	7食						7食	32食
	35件	183件	114件	161件	157件	113件	763件	1,017件
合 計	129食	731食	455食	643食	625食	454食	3,037食	4,024食

※1件あたり、4日程度の食材提供(米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品等)。

食材提供の件数は、グリーンコープ・歳末たすけあい助成金・母子会等から提供分の食材も含む。

配食サービスについては、1日あたり、1件で2食(昼・夜)を提供。

② 日用品支援…生活保護受給等や貸付金が出るまでのつなぎとして日用品の支援を実施した。

月 別	11月分	12月分	1月分	3月分	合 計
日用品提供	2件	4件	5件	2件	13件

③ つなぎ資金貸付…25 件

NO	つなぎ資金貸付用途	貸付金	貸付残額	備考
1	敷金・保証金等立替(生活保護受給までのつなぎ)	129,560 円	0 円	済
2	敷金・保証金等立替(生活保護受給までのつなぎ)	128,000 円	0 円	済
3	生活費支援(傷病手当支給までのつなぎ)	160,000 円	160,000 円	4月返済予定
4	生活費支援(給料支給までのつなぎ)	29,750 円	0 円	済
5	生活費支援(給料支給までのつなぎ)	40,000 円	40,000 円	償還督促
6	家賃滞納(生活福祉資金交付までのつなぎ)	96,000 円	0 円	済
7	エアコン設置(生活福祉資金交付までのつなぎ)	67,000 円	67,000 円	償還督促CW
8	エアコン設置(生活福祉資金交付までのつなぎ)	111,132 円	0 円	済
9	エアコン設置(生活福祉資金交付までのつなぎ)	58,000 円	0 円	済
10	エアコン設置(生活福祉資金交付までのつなぎ)	87,000 円	0 円	済
11	エアコン設置(生活福祉資金交付までのつなぎ)	87,000 円	0 円	済
12	エアコン設置(生活福祉資金交付までのつなぎ)	62,000 円	0 円	済
13	公共料金滞納(給料支給までのつなぎ)	18,688 円	0 円	済
14	公共料金滞納(年金支給までのつなぎ)	24,805 円	0 円	済
15	生活費支援(生活福祉資金交付までのつなぎ)	200,000 円	150,000 円	返済中
16	生活費支援(ライフレスキュー交付までのつなぎ)	80,877 円	0 円	済
17	公共料金滞納(生活福祉資金交付までのつなぎ)	8,675 円	0 円	済
18	公共料金滞納(生活保護受給までのつなぎ)	4,858 円	4,858 円	4月返済予定
19	生活費支援(ライフレスキュー交付までのつなぎ)	99,950 円	0 円	済
20	生活費支援(給料支給までのつなぎ)	5,000 円	0 円	済
21	公共料金滞納(生活福祉資金交付までのつなぎ)	8,472 円	0 円	済
22	修学資金支援(年金支給までのつなぎ)	21,700 円	16,700 円	返済中
23	宿泊費支援(ライフレスキュー交付までのつなぎ)	4,200 円	0 円	済
24	宿泊費支援(ライフレスキュー交付までのつなぎ)	4,200 円	0 円	済
25	生活費支援(生活福祉資金交付までのつなぎ)	100,000 円	80,000 円	返済中
合 計		1,636,867 円	518,558 円	

④ ゴミ屋敷清掃…4 件 三池校区及び羽山台校区・みなと校区ゴミ屋敷清掃活動

- ①三池校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】平成 29 年 4 月 2 日 【参加者】33 名
- ②羽山台校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】平成 29 年 8 月 20 日 【参加者】34 名
- ③みなと校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】平成 29 年 12 月 26 日 【参加者】26 名
- ④みなと校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】平成 30 年 2 月 15 日 【参加者】10 名



⑤九州北部豪雨災害支援活動

7月初旬に発生した九州北部豪雨災害に際し、大牟田青年会議所と協働し、朝倉市災害ボランティアセンターへ、スコップ・高圧洗浄機・防塵マスク・コンテナ・ブルーシート等々の資機材200千円相当を届けた。



⑥若者ひきこもりの就労体験支援事業

生活困窮者や若者ひきこもり等の就労体験支援事業として、日常生活支援や社会生活支援を行いながら、自立に向けた取組みを実施。就労体験を始める前に、当事者からの情報提供、面談、職場見学等を交えながら、大牟田恵愛園と恵愛ワークセンターにて就労体験受入れて（ジョブサポーターとしての関わり）頂いた。その後、恵愛ワークセンターにパートとして就職することになった。

項目	内容
本人	40歳・男性
プロセス	①依頼→②対応できる仕事内容の返答→③本人の同意→④見学・事前面談→⑤受入開始
状況	10年以上無職
体験時間	1日4～5時間
体験内容	クリーニングの作業

⑦シェルター（一時避難や住居が決まるまでの居住地として設定）

…住居を喪失した生活困窮者に対して、住まいを決定するまでの間や、やむを得ない事情により生活を再建するまでの間、社会福祉法人の物件を短期間無償貸与、光熱水費についても法人にて負担などの地域貢献事業を展開している。食料支援は並行して実施。

シェルター提供社会福祉法人	件数	延日数
社会福祉法人 博愛福祉会	1件	70日間
社会福祉法人 あげぼの会	3件	52日間



2階建て、風呂・トイレ付



ふとん、電子レンジ、冷蔵庫貸出あり

⑥ 朝倉市災害支援ボランティアバス運行・災害支援（別掲P20）

社会福祉法人が所有するバスを、災害ボランティア活動のために運行した。社福公益協
職員や市民ボランティア、高校生等を乗せて、朝倉市の災害支援を行った。

(6) 大牟田市居住支援協議会活動支援事業

(国交省：重層的住宅セーフティネット構築支援事業補助)

地域資源としての空き家の活用と住宅確保要配慮者の円滑な入居促進及び安心して暮らせる仕組
みづくりを推進するため、事務局として不動産・福祉・医療・行政等の各団体と連携して取り組
んだ。

① 相談対応の実施

空き家所有者及び入居希望者の相談対応を行った。

相談件数：93件（入居相談：58件・建物相談：26件・その他：9件）

② 入居支援の実施

所有者より物件提供があった空き家を活用し、住宅確保要配慮者の入居マッチングを実施
した。

契約件数：4件（母子世帯1件、高齢者単身世帯2件、生活困窮者1件）

③ 空き家活用無料相談会の開催（年2回）

【開催日】平成29年8月12日 相談件数14件

【会場】総合福祉センター2階 大会議室

【開催日】平成30年1月27日 相談件数9件

【会場】総合福祉センター2階 大会議室



空き家無料相談会

④ 「少子高齢化と人口減少時代における空き家活用セミナー in おおむた」の開催

住宅確保要配慮者の実態を認識し、コミュニティとま
ちづくりや改正住宅セーフティネット法の紹介をする
ことで、空き家所有者が空き家問題と向き合うきっか
けにしてもらうことを目的に開催した。

【開催日】平成29年11月6日

【会場】イオンホール

【参加者】約80名



セミナーの様子

⑤ 住宅確保要配慮者に対する支援体制に関する調査研究の実施

居住支援協議会の専門性を活かした機能を充実させるため、有明工業高等専門学校創造工学科
建築コースと連携し、全国の居住支援協議会を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を実
施した。

【調査期間】平成29年7月～平成30年2月

(7)知的障がい児・者医療支援プロジェクトへの参加・連携・協働

発達障がいや知的障がいのある方が医療機関を受診する際にスムーズな受診ができるように発足された本プロジェクトでは、医療機関との連携強化、教育委員会との連携強化、当事者家族への周知・啓発、医療支援手帳・絵カード等の活用、大牟田市障害者計画策定への参画などを重点的に取り組んでいる。

今年度は、医療支援手帳の活用が円滑に進むように、絵カードを特別支援学校からレンタルできるよう整備を行い、配布チラシを再度作成した。また医療支援手帳への記入がスムーズにいくよう健康診断対応記録票の作成を行った。今後は、ポスターやチラシ、健康診断対応記録票の活用について教育委員会や医療機関と連携し円滑に進めていく。また関係機関同士の連携も図ることで、さらなる発展が期待される。



【プロジェクト会議】

実施月日	主な内容	参加者数
平成 29 年 4 月 21 日	第42回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 平成28年度活動報告について (2) 平成29年度活動計画(案)について	14名
平成 29 年 6 月 23 日	第43回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 活用支援に関する取り組み(活用支援チーム) (2) 消防署との連携について (3) 今後のチームの取り組みについて(チーム解除)	14名
平成 29 年 8 月 23 日	第44回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 活用支援に関する取り組み (2) メンバーの確認	12名
平成 29 年10月 25 日	第 45 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1)活用支援に関する取り組み	10名
平成 29 年12月 27 日	第 46 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1)活用支援に関する取り組み (2)特別支援学校における医療支援手帳に関するアンケート結果報告について (3)医療支援手帳在庫確認	13名
平成 30 年 2 月 28 日	第 47 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1)活用支援に関する取り組み (2)ポスター表示変更に伴う対応について (3)今後の取り組みについて	14名

(8)各種相談事業

①行政書士による法務相談

毎月第3水曜日に行政書士による法務相談を実施し、家庭、離婚、金銭貸借、財産相続、事故等の相談に親身になって対応し、高度な対処法については無料弁護士相談や関係機関へ橋渡しをした。平成29年度の相談件数は41件であった。

②福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合は、「第三者委員会」を設置し、その解決を図ることとしている。平成29年度は相談依頼がなく、開催していない。

4. 安心して子育てできる環境の整備に努めます。

(1) くぬぎ保育所の運営

保育のさらなる充実に向けて、障がい児との統合保育、食育の推進、多世代地域交流、子育て支援の拠点づくりなどを行った。

今年度は入所園児数92名（定員90名）でスタートし、年度末には115名の園児が在籍した。



三池初市でロックソーラン披露

【四半期ごとの園児数】

（単位：名）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
6月	7	17	19	15	19	20	97
9月	12	17	20	16	20	20	105
12月	16	17	22	16	20	21	112
3月	17	17	23	16	20	21	114

【主な行事内容】

実施月日	内容	実施月日	内容
平成 29 年 4 月 1 日	入園・進級式	平成 29 年 8 月 26 日	親子ふれあいバザー
平成 29 年 4 月 14 日	3,4,5 歳児遠足	平成 29 年 10 月 7 日	運動会
平成 29 年 6 月 10 日	プール開き	平成 29 年 10 月 30 日	稲刈り
平成 29 年 6 月 28 日	田植え体験	平成 29 年 12 月 1 日	世代間交流餅つき
平成 29 年 7 月 1 日	親子で味噌作り	平成 29 年 12 月 16 日	クリスマス会
平成 29 年 7 月 8 日 ～9日	年長お泊り保育	平成 30 年 3 月 9 日	お別れ遠足
平成 29 年 7 月 21 日 ～22日	お祭りごっこ ちびっこ総踊り	平成 30 年 3 月 21 日	卒園式

① 食育の推進

安全な食材でバランスの良い食事を提供すると共に、みそ作り、田植え、稲刈り等、「食」に関心が持てるような活動を積極的に取り入れ、経験を通して「食」の大切さを園児たちに伝えた。また、年に1度行う保育参観・給食試食会では、園で日頃から提供している、野菜中心で栄養価の高い食事を試食してもらい、同時に「食」の大切さを保護者にも伝えた。



食育「みそ作り」

②子育て支援の拠点づくり

未就園児を対象とした園庭開放「どんぐりクラブ」では、体験保育や、給食試食を通して、園児との交流を図り、保護者から育児相談を受けるなど、保育園との信頼関係を構築する場となった。また、多世代との地域交流も積極的に取り入れた。

【どんぐりクラブ(園庭開放)参加人数】

実施月	参加者数	内 容
5月	19名(9組)	リズム遊び
6月	23名(11組)	どろんこ遊び
7月	19名(9組)	たなばた祭り
8月	25名(11組)	プール遊び
9月	16名(8組)	お絵かき遊び
11月	23名(10組)	お散歩
12月	18名(9組)	もちつき
1月	15名(7組)	お正月遊び
3月	23名(11組)	おひな祭り



(2)放課後児童健全育成事業の実施(市受託事業)

①学童保育所運営(三池・高取・中友・白川・大牟田中央)

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、各学童保育所においては、地域組織等と連携し様々な多世代間交流事業を実施した。

平成 30 年 3 月 31 日現在

学童保育所名	三池	高取	中友	白川	大牟田中央	合計
児童数(名)	38	21	25	44	42	170



②支援員の研修受講

毎月の支援員会議での運営状況報告・事例検討をはじめ、救急救命講習・障がい児研修・保護者対応の研修など、より良い児童の健全育成のために研修を実施した。

また、支援員のスキルアップを目的として、様々な研修に積極的に参加した。

【主な研修内容】

実施日	内 容	参加者
平成 29 年 5 月 9 日	食中毒予防・食物アレルギーに関する研修	13名
平成 29 年 6 月 13 日	救急救命講習会	16名
平成 29 年 6 月 18 日	第42回全国学童保育指導員学校	2名
平成 29 年 10 月 1 日	平成29年度放課後児童支援員スキルアップ研修	1名
平成 29 年 10 月 17 日	防犯教室 「子どもの安全を守るために支援員が出来る事」	10名
平成 29 年 11 月 4 日 ～ 11 月 5 日	第52回 全国学童保育研究集会	1名
平成 29 年 11 月 16 日	支援員全体研修 「放課後児童クラブ運営指針について」	12名
平成 30 年 1 月 16 日	障がい児及び保護者対応事例検討	10名
平成 30 年 1 月 22 日	平成29年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	4名
平成 30 年 1 月 31 日	平成29年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	3名
平成 30 年 2 月 9 日	平成29年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	4名
平成 30 年 2 月 12 日	第36回 福岡県学童保育研究集会	1名
平成 30 年 2 月 12 日	平成29年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	4名
平成 30 年 3 月 1 日	平成29年度大牟田市学童保育所障害児保育研修会	11名

(3)大牟田市ファミリー・サポート・センター事業運営(市受託事業)

子育ての手伝いをしたい人（協力・相互会員）と子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）との相互援助活動（コーディネート）を行うとともに、協力・相互会員養成講座の実施や事業の周知啓発に努めた。

①会員の登録及び活動

今年度の活動では、定期的な習い事や学童保育所の送迎の他に、一人親家庭への支援、障がいのある利用会員の支援、産前産後の利用会員の支援などを行い、保護者の子育てへの負担軽減につながった。また、年間を通じて安心安全に子どもの援助を行うことが出来た。

区 分	登録会員数	前年度比	依頼件数（内キャンセル数）
利用会員	687 名	99%	928 回(132 回) 前年度比：90%
協力会員	115 名	147%	
相互会員	41 名	56%	
合 計	843 名	100.1%	

（相互会員の減少は、協力会員への登録切り替えのため）

② 協力・相互会員養成講座の実施

今年度は、協力・相互会員養成講座（全5回）を2回開催した。

第1回目は、ファミリー・サポート・センター協力会員とキャロットサービス協力会員、日常生活自立支援事業の生活支援員の養成を「市民サポーター養成講座」として行い、受講後に希望する市民サポーターとして登録いただいた。

第2回目は、子育て支援に関心のある新たなサポーターの掘りおこしのために「つどいの広場サポーター養成講座」と合同で開催した。



協力・相互会員養成講座の様子

実施日(回数)	内容	新規登録者数
平成 29 年 8 月 22 日 ～ 9 月 12 日(全 5 回)	協力会員養成講座(市民サポーター養成講座として開催) 受講者数：延 140 名 / 5 回	協力会員：6 名 相互会員：1 名
平成 30 年 1 月 16 日 ～ 2 月 13 日(全 5 回)	協力会員養成講座(つどいの広場サポーター養成講座と合同開催)受講者数：延 96 名 / 5 回	協力会員：5 名 相互会員：1 名

③ ステップアップ講座の実施（全4回）

実施日	内容	受講者数
平成 29 年 8 月 29 日	「傾聴を学ぶ」	4 名
平成 29 年 9 月 12 日	「地域住民同士の助け合いについて」	4 名
平成 30 年 2 月 1 日	「上手な話の聴き方」	5 名
平成 30 年 2 月 10 日	「子どもの体の発達と病気について」	6 名

④ 安全対策講習会の実施

実施日	内容	受講者数
平成 29 年 9 月 5 日	幼児安全法 「子どものケガや病気の手当の仕方」	7 名
平成 30 年 2 月 6 日	幼児安全法 「子どものケガの手当の仕方」	3 名



幼児安全法の様子

⑤ 交流会の実施

サブ・リーダーの企画運営により、もちつき交流会を開催した。もちつきを通じて多くの会員と子ども達が交流を図る事ができた。

実施日	内容	参加者数
平成 29 年 12 月 16 日	「もちつき交流会」 会員と子どもや家族の交流	51 名 (おとな 26 名・子ども 25 名)

(4)大牟田市地域子育て支援拠点事業・つどいの広場事業運営(市受託事業)

大牟田市市民活動等多目的交流施設である内「つどいの広場」において、3歳以下の子どもとその保護者が気軽に集い交流できるような雰囲気作りを行い、子育て中の親の悩みごとや困りごとの相談に対応しながら、子育てへの負担感の緩和に努めた。

また、子育て講座、親子を対象としたイベントの企画や実施及び子育てサポーター養成講座の実施、周知啓発に努めた。

①利用者の登録・利用状況

年度	登録組数	利用組数	大人	子ども	総参加者	相談件数
H29年度	730組	4,732組	5,187名	5,799名	10,986名	989件
H28年度	738組	5,103組	5,446名	6,119名	11,565名	473件
前年比	99%	93%	95%	95%	95%	209%

②イベントや新事業の実施

福岡県の「ふくおか・みんなで家族月間」キャンペーンに合わせて、子育て中の家庭やこれから親になる人たちを対象としたイベント「家族で行こ行こわくわくDay」を開催し、子育ての楽しさや社会全体での子育て支援の大切さを市民に周知した。

また、離乳食の進め方について悩む保護者が多いため、食に対するストレスの軽減を図り、食事が親子にとって“楽しく幸せな時間”になるように「離乳食教室」や「食育フェア」を開催した。

内容等	組数	大人	子ども	総参加者
「離乳食教室」(初期) 平成 29 年 8 月 23 日	8組	8名	8名	16名
「離乳食教室」(中期) 平成 29 年 10 月 17 日	9組	9名	10名	19名
「離乳食教室」(後期) 平成 29 年 12 月 15 日	8組	8名	8名	16名
「離乳食教室」(1才以上おやつ) 平成 30 年 2 月 16 日	10組	10名	11名	21名
「家族で行こ行こわくわくDay」 平成 29 年 11 月 19 日	74組	120名	111名	231名
「食育フェア」 平成 30 年 3 月 15 日～17 日	69組	78名	79名	157名



離乳食教室の様子



わくわくDayの様子



食育フェアの様子

③ つどいの広場サポーター活動状況

つどいの広場サポーターは、子育て講座中の託児、各種イベントの協力の他、広報や季節ごとの制作物の手伝いを行った。

年 度	サポーター数	活動件数
H29 年度	42 名	450 回
H28 年度	39 名	410 回
前 年 比	108%	110%



④ つどいの広場サポーター養成講座の実施

「ファミリー・サポート・センター協会会員養成講座」と合同で行い、12名の受講者のうち10名が新規サポーターとして登録を行った。また、現サポーターのステップアップ講座も兼ねて実施した。

期 間	内 容
平成 30 年 1 月 16 日～ 2 月 13 日(全 5 回)	ファミリー・サポート・センター協会会員養成講座と合同開催

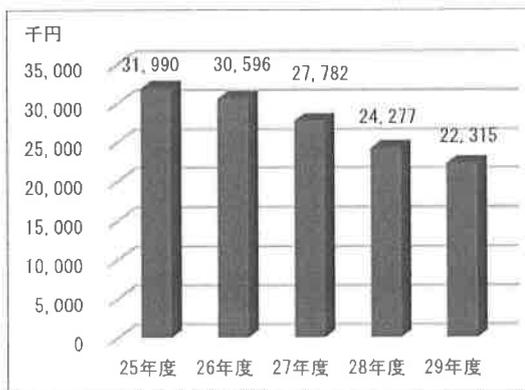
5. いつまでも元気に暮らすために在宅生活を支援します。

(1) 高齢者福祉対策の推進

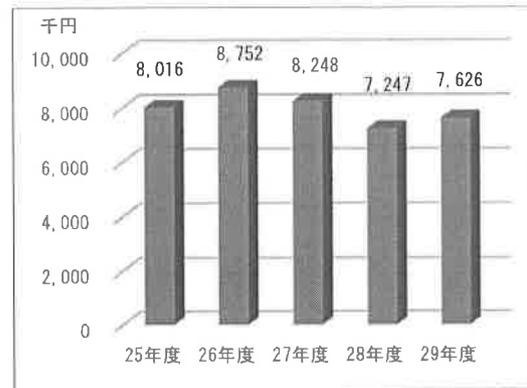
① 介護保険事業の実施

訪問介護（ホームヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、居宅介護（ケアプランの作成）、通所介護（デイサービス）の事業を実施し、要支援、要介護者の在宅生活を支援した。

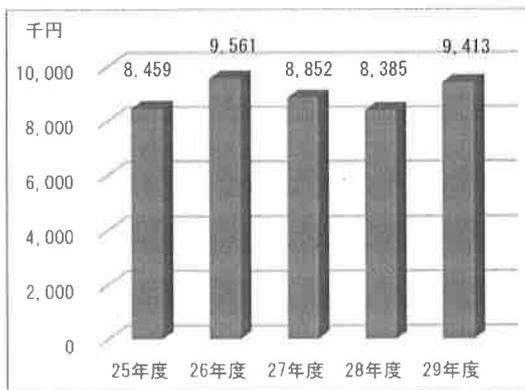
訪問介護事業（ホームヘルプ）実績



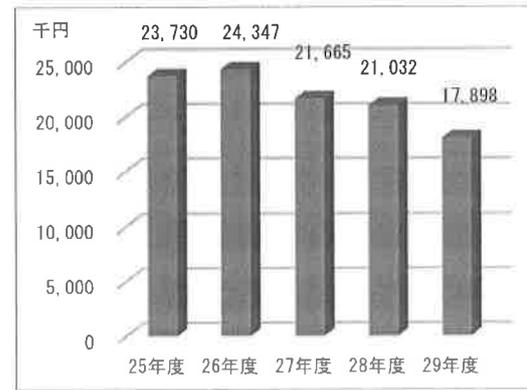
訪問入浴事業（入浴サービス）実績



居宅介護支援事業（ケアプラン）実績



通所介護事業（いれあい処える）実績



【平成 29 年度介護保険事業の総括】

- 訪問介護事業では前年度実績より、事業件数については497件減、収入面では1,962千円減となった。新規利用者（39人）の利用はあったものの、入院・入所・死亡等による減少（41人）が上回ったことが要因となった。
- 訪問入浴事業では前年度実績より379千円増となり、事業件数は18件増となった。これは、ターミナル期利用者の積極的な受け入れに加え、タオル貸出サービスや入浴通信によるサービス内容等の周知が件数に結び付いたと考える。
- 居宅介護支援事業は前年度実績より1,028千円増であった。これは、ケアマネージャー増員（2名）に伴う件数受け入れが増えたことが要因となった。

- 通所介護（えいる）事業では、利用者の増減は同数（10人）であったが、前年度実績より3,134千円減、利用件数は344件減であった。これは、利用頻度の高い利用者や長時間利用者の施設入所や死亡によることが要因と考えられる。新規利用者は利用頻度が低く、短時間利用であったため、一人あたりの介護報酬単価が下がったことが要因と考えられる。また、エレベーター工事による休業も収入減の要因となった。

※ 4事業合計として、前年度実績と比較すると3,690千円収入減という結果となった。

【各年度事業実績】

事業名		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
訪問介護サービス	収入(円)	31,990,254	30,596,792	27,782,816	24,277,610	22,315,580
	件数(件)	9,713	9,275	8,109	7,363	6,866
訪問入浴サービス	収入(円)	8,016,180	8,752,500	8,248,060	7,247,680	7,626,040
	件数(件)	624	689	647	568	586
居宅介護支援事業	収入(円)	8,459,620	9,561,730	8,852,290	8,385,220	9,413,660
	件数(件)	792	789	867	832	875
通所介護（えいる）	収入(円)	23,730,030	24,347,220	21,665,861	21,032,681	17,897,900
	件数(件)	2,541	2,886	2,536	2,706	2,362
総合計	収入(円)	72,196,084	73,258,242	66,549,027	60,943,191	57,253,180
	件数(件)	13,670	13,639	12,159	11,469	10,689

② 介護予防・相談センターの運営（市受託事業）

中央地区地域包括支援センターのサブセンターとして、地域包括支援センターや他機関と協働し、介護予防の普及・啓発を目的とした介護予防啓発教室や健康相談の場を設け、地域住民の健康増進に努めた。また、介護認定により要支援と認定された高齢者及び介護予防・日常生活総合事業対象（なんらかの機能低下が見られる）高齢者に対して、介護予防プラン等を作成し、心身の健康保持、生活の安定のために関係機関、サービス実施事業者と連携して支援を行った。また地域の民生委員等からの相談に同行し、訪問相談を実施した。

【各年度事業実績】

事業名		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
介護予防・相談センター	収入(円)	5,982,120	6,485,110	6,218,700	5,967,000	5,867,800
	件数(件)	956	1,092	969	904	899

【中央地区地域包括支援センター主催事業等への協力】

事業内容	開催場所
地域力アップ事業(介護予防事業)	亀甲公民館、瓦町公民館、大牟田市社協
絵本教室	白光中学校、松原中学校
認知症サポーター養成講座	大牟田市社協
もの忘れ予防・相談検診	地域交流センターしらかわ 地域交流センターちくまち 大牟田ゆめタウン、ゆずりは

事業内容	開催場所
その他サロン・カフェ等	平原サロン、通町市住サロン、新地サロン、小浜サロン、ちくまちカフェ
大正校区民生委員とワークショップ	リビングアエル小浜
まちづくりワークショップ	地域交流センターちくまち

③「在宅介護者の会」の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」の事務局を担い、様々な活動支援を行った。

■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数 14 名

【目的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、仲間づくりを行うとともに「介護」にかかる課題を解決していくことを目的に実施。

【定例会】毎月第4水曜日

介護体験を語るおしゃべり会を中心に、学習会、レクリエーションなどを実施。

また、年2回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ。

④ホームヘルパー研修

日程	講師	研修内容	参加者
平成29年 4月 26日	市社協職員	平成 29 年度事業計画・予算について	14 名
平成29年 5月 17日	ヘルパー研究会にぎやか 日高 真由美 氏	接遇マナーについて	26 名
平成29年 6月 21日	三川地区地域包括支援センター 米田 直樹 氏	認知症の方へのケアとチームアプローチ	31 名
平成29年 7月 19日	市社協職員	熱中症、脱水、食中毒の予防について	23 名
平成29年 8月 23日	市社協職員	高齢者の食事(糖尿病、腎臓病、 高血圧の方の食事について)	25 名
平成29年 9月 20日	大牟田市 防災対策室	福祉避難所について ～開設時における介護職の役割とは～	24 名
平成29年 10月 25日	大牟田市障害者協議会事務局長 大場 和正 氏	障がいに対する理解を深める	13 名
平成29年 11月 15日	大牟田市 保健衛生課	感染症について(インフルエンザ、 ノロウイルス、嘔吐物の処理方法)	19 名
平成29年 12月 20日	久留米大学文学部 社会福祉学科 片岡 靖子 氏	福祉職員のメンタルヘルス	13 名
平成30年 1月 17日	福岡県介護福祉士会 日高 真由美 氏	プライバシーの保護の取り組み (倫理及び法令遵守について)	19 名
平成30年 2月 28日	大牟田市消防署	心肺蘇生法および AED の操作方法	8 名
平成30年 3月 28日	パナソニックエイジフリー 小柳 貴敬 氏	福祉用具について (ヒヤリハット、事故防止について)	14 名

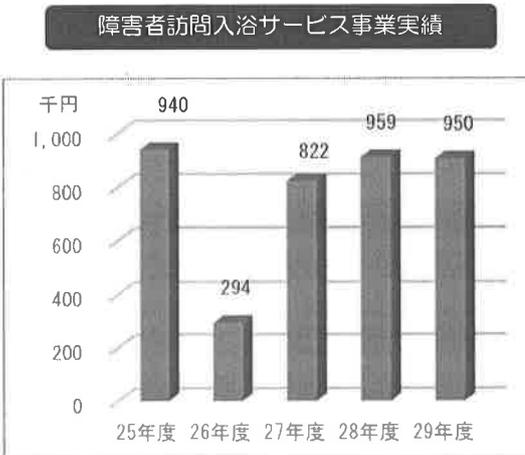
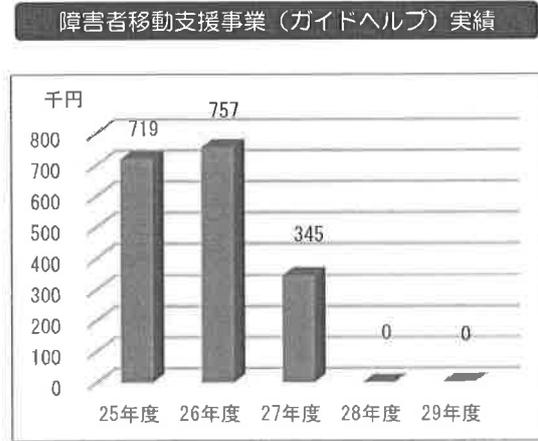
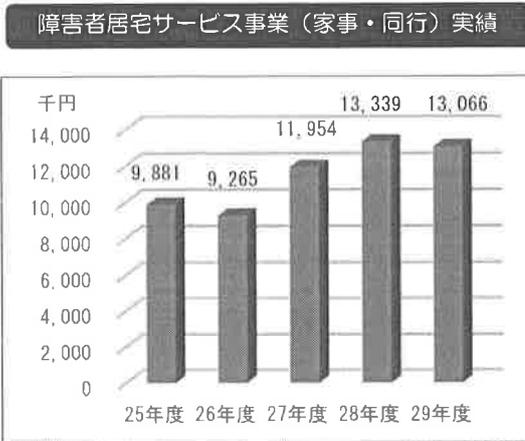
⑤ホームヘルパー実習受入

日程	実習受入先	受入人数
平成 30 年 2 月 13 日～ 2 月 15 日	九州大谷短期大学	4 名

(2)障がい児・者福祉サービス事業の推進

① 障害者自立支援サービス事業

障害区分認定を受けた在宅の障がい者に対して、居宅サービス（家事・通院支援・視覚障害者同行援護）移動支援（ガイドヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、の3事業を実施し、在宅生活を支援した。



【平成29年度障害者自立支援サービス事業の総括】

- 居宅サービス事業では前年度実績より273千円減、事業件数については、154件減となった。居宅介護利用者、利用件数ともに減少。天候不順による同行援護利用減少が要因と考えられる。
- 移動支援事業は今年度も利用者なし。
- 障害者入浴サービス事業では、ほぼ前年同額であった。利用者は昨年と変わらず1名で、前年度と同様週2回ペースで、毎月8～9回入浴している。

※ 3事業合計として、前年度実績と比較すると282千円収入減であった。

【各年度事業実績】

事業名		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
障害者居宅サービス事業	収入(円)	9,881,849	9,265,680	11,954,138	13,339,880	13,066,420
	件数(件)	2,468	2,338	2,118	1,832	1,678
障害者移動支援事業	収入(円)	719,234	757,160	345,095	0	0
	件数(件)	368	385	110	0	0
障害者入浴サービス事業	収入(円)	940,500	294,500	822,700	959,500	950,000
	件数(件)	99	31	87	101	100
総合計	収入(円)	11,541,583	10,317,340	13,121,933	14,299,380	14,016,420
	件数(件)	2,935	2,754	2,315	1,933	1,778

6. 地域福祉の推進役を果たすために市社協の基盤を強化します。

(1) 大牟田善意銀行の啓発強化

大牟田善意銀行預託状況

【寄付金等預託状況】

区分	H27年度	H28年度	H29年度
一般寄付(件数)	326件	363件	333件
一般寄付(金額)	7,956,213円	8,024,282円	6,470,967円
物品寄贈件数	19件	17件	28件

(2) 賛助会員制度

【賛助会員数等の推移】

区分	H27年度	H28年度	H29年度
会員数(個人・団体)	430名	404名	394名
金額	1,114,100円	1,104,000円	1,158,000円

(3) 広報の充実

① 広報紙「社協だより「きらり」」の発行

年4回(4月・7月・10月・1月)、全世帯を対象に発行している社協福祉情報「きらり」を発行した。



② 社協事務局通信「きらり」の発行

毎月1回、社協事務局通信「きらり」を発行し、タイムリーな情報を提供した。

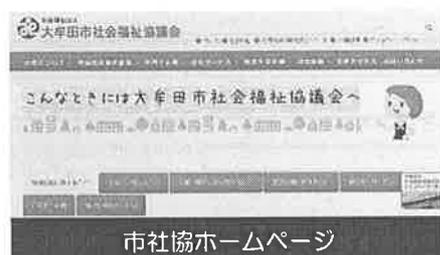
発行月	特集内容	発行月	特集内容
4月	地域の皆さんとの研修会	10月	赤い羽根共同募金
5月	社協の子育て支援①	11月	社協の子育て支援②
6月	子どもたちの地域福祉活動	12月	地域リーダー合同研修会
7月	福祉委員、市民サポーターの活動紹介	1月	第9回大牟田市地域福祉大会
8月	九州北部豪雨災害被災地支援ボランティア活動	2月	権利擁護のあれこれ
9月	生活支援相談室	3月	平成29年度の振り返り

③ ホームページの運営

ホームページ運営委員会を定期的開催し、内容の充実や改善を図り、社協及びくぬぎ保育所のホームページにて、行事開催案内や報告など様々な取り組みについて、随時情報提供を行った。

① 社協ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/>)

② くぬぎ保育所ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/kunugi/>)



(4) 総合福祉センターの運営

① 総合福祉センター利用状況

	H27年度	前年比	H28年度	前年比	H29年度	前年比
会場使用料収入(円)①	1,446,094	63.2%	1,321,919	91.4%	1,318,451	99.7%
賃貸料収入(円)②	7,419,177	120.8%	6,496,062	87.6%	6,601,789	101.6%
手数料収入(円)③	265,457	91.8%	290,858	109.6%	556,189	191.2%
利用収入計(円) (①+②+③)	9,130,728	100.2%	8,108,839	88.8%	8,476,429	104.5%

② 総合消防訓練

本会では、年に2回消防訓練を実施することとしている。今年度1回目は、平成29年9月11日に職員を対象とした避難訓練と消防設備点検、2回目は平成30年2月22日に、ボランティア連絡協議会と合同で、総合消防訓練を実施した。両日、それぞれの役割に分かれ、初期消火や避難誘導、救助法などを再確認した。避難訓練後は、水消火器による消火訓練や毛布を使用した患者搬送の方法等を学び、延約80名の参加のもと有意義な消防訓練を行うことができた。



(5) 自主避難所の開設

平成29年7月の九州北部豪雨災害時には、大牟田市においても大雨警報が出されたり、台風接近により、総合福祉センターを自主避難所として延3日間開設した。地域の一人暮らしの高齢者など不安を抱えてある方が来所された。今後も災害時等に安心して利用できる場所として提供していく。

【自主避難所開設(21:00~翌日8:00まで)】

大雨	7月6日	台風接近	7月3日	9月16日	合計
来館者	4名	来館者	9名	16名	29名
対応職員数	2名	対応職員数	2名	3名	7名

(6) 福祉バス等貸出事業

福祉団体等の福祉増進のため、各種大会や研修会等の参加に際して福祉バスを運行した。また、福祉行事のための荷物等を運搬する軽トラックの貸出も実施した。

利用状況	H27 年度		H28 年度		H29 年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
福祉バス	86 回	2,517 名	80 回	3,909 名	78 回	3,457 名
軽トラック	4 回		12 回		4 回	

(7) 車椅子貸出事業

在宅の高齢者・障がい（児）者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延 147 名に無料で車椅子を貸し出した。

(8) 職員研修の取組み

① 全体研修

基本2カ月に1回、全職員を対象に研修を実施。

開催月	テーマ	講師	参加人数
4 月	平成 29 年度 事業計画・予算について	大牟田市社会福祉協議会職員	72 名
6 月	安全運転講習	大牟田警察署 交通総務係長 江口誠 氏	48 名
9 月	大牟田市総合防災訓練 (災害ボランティアセンター設置運営訓練)	災害ボランティアセンター 設置運営訓練プロジェクトチーム	28 名
10 月	障がいに対する理解を深める	大牟田市障害者協議会 事務局長 大場和正 氏	70 名
12 月	福祉職員のメンタルヘルス	学校法人 久留米大学 文学部社会福祉学科 准教授 片岡靖子 氏	42 名
2 月	大牟田市地域福祉大会	大牟田市地域福祉大会実行委員会	36 名
	心肺蘇生法および AED の操作方法	大牟田市消防署職員	47 名

② 新人職員研修

新任職員および未受講者（13名）を対象とした新人職員研修を延4日実施。

開催日	テーマ
平成 29 年 4 月 3 日	・社協の概要について
平成 29 年 6 月 1 日	・地域福祉総合推進事業について
	・生活困窮者支援事業について
	・キャロットサービスについて
	・赤い羽根共同募金について

開催日	テーマ
平成 29 年 6 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・居住支援協議会活動支援事業について ・子育て支援事業（ファミリーサポートセンター・つどいの広場） ・歴木保育所運営事業について ・ボランティアセンターについて ≪外部講師≫ <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについて（講師：大牟田市ボランティア連絡協議会 彌永恵理 氏） ・障害者福祉について（講師：大牟田市障害者協議会 大場和正 氏）
平成 29 年 7 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所事業について ・成年後見センターについて ・日常生活自立支援事業の取組みについて ・社協で実施している介護保険事業について

③ その他研修

各部署において、職員のスキルアップのため課題別の研修に取り組んだ。

実施日	研修内容	講師	人数
平成 29 年 5 月 9 日	「対人援助の基本Ⅰ」	社会保険大牟田天領病院 梅田正嗣 氏	19 名
平成 29 年 5 月 16 日	接遇研修	大牟田市地域福祉推進室 平田恵子 氏	16 名
平成 29 年 6 月 6 日	「対人援助の基本Ⅱ」	社会保険大牟田天領病院 梅田正嗣 氏	14 名
平成 29 年 7 月 14 日	「精神障害について」	障害者就労支援くすの木苑 猿渡千春 氏	11 名
平成 29 年 7 月 18 日	『広報おおむた』ができるまで	大牟田市秘書広報課 岩田真吾 氏	8 名
平成 29 年 8 月 22 日	生活保護制度について	大牟田市保護課 松藤修二 氏	9 名
平成 29 年 9 月 14 日	社会福祉法人会計について	(株)近代経営研究所 五島慶一 氏 松本裕子 氏	17 名
平成 29 年 9 月 29 日	発達障害の理解と対応	社会福祉法人あけぼの会 夏目 尚 氏	10 名
平成 29 年 11 月 7 日	生活困窮者事例検討	社会保険大牟田天領病院 梅田正嗣 氏	10 名
平成 29 年 12 月 15 日	金銭管理教育と生活困窮者支援	尚絅大学 川崎孝明 氏	6 名
平成 30 年 2 月 27 日	DV 支援について	久留米大学 片岡靖子 氏	7 名
平成 30 年 3 月 27 日	家族療法の考え方と 家族へのかかわりのヒント	久留米大学 徳田智代 氏	8 名

(9) 視察受入及び出前研修等について

実施日	主な内容
平成29年 4月13日	■九州ブロック社会福祉協議会連絡会・地域福祉委員会 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成29年 6月21日	◆鹿児島県日置市東市来民児協視察受入 ・認知症の方の見守りについて
平成29年 6月28日	■大牟田市保護課職員研修 ・生活困窮者自立支援事業及びレスキュー事業について
平成29年 7月11日	■心くおかライフレスキュー事業サポーター養成研修 ・大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会事例報告について
平成29年 7月20日	◆佐賀県神埼市社協視察受入 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成29年 8月 2日	◆福岡市社協視察受入 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成29年 8月24日	■大牟田市介護支援専門員連絡協議会研修会 ・大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の取組みについて
平成29年 9月22日	◆熊本県合志市社協視察受入 ・小地域ネットワーク活動について
平成29年10月11日	■福岡市社協・住民参加型サービス研修会 ・キャロットサービスについて
平成29年10月17日	◆広川町社協視察受入 ・キャロットサービスについて
平成29年10月18日 ～20日	◆東京都江東区社協視察受入 ・小地域における「つながり・共助」の再構築について
平成29年10月24日	◆飯塚市菰田地区社協視察受入 ・小地域ネットワーク活動、キャロットサービスについて
平成29年10月24日	■福岡市社協・成年後見制度活用講座 ・大牟田市成年後見センターについて
平成29年10月25日	◆九大山下ゼミ視察受入 ・東日本大震災復興支援について
平成29年11月16日	◆大刀洗町ボランティア連絡協議会視察受入 ・キャロットサービスについて
平成29年11月16日	◆広島県呉市社協視察受入 ・成年後見センターについて
平成29年12月 4日	■佐賀県内社協理事・監事・評議員セミナー ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成29年12月23日	■NPO日本地域福祉研修所「冬の公開研究セミナー」 ・大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の取組みについて
平成30年 1月19日	■柳川市ボランティア連絡協議会研修会 ・子ども・地域食堂について
平成30年 2月 5日	■沖縄県総合相談・生活支援機能強化研修会 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成30年 2月 9日	◆築上町身障福祉会視察受入 ・災害ボランティアセンター&福祉避難所について
平成30年 2月23日	◆佐賀県武雄市社協視察受入 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成30年 3月15日	◆鹿児島県薩摩川内市視察受入 ・子ども民生委員活動について

◆…視察受入

■…出前研修



合志市社協視察受入



東京都江東区社協視察受入



介護支援専門員連絡協議会研修

(10) 社会福祉士相談援助実習の受入

次世代の福祉人材（社会福祉士）を育成するために相談援助実習の受入を行っているが、今年度は8名の学生を受け入れた。8月～9月にかけて24日間本会の事業運営や実践を学んだ。特に今年度は、九州北部豪雨災害があったことから災害ボランティアセンターについての実践を多く学習することになった。



実習生報告会

受入期間	平成 29 年 8 月 17 日～9 月 24 日(24 日間)
受入人数	福岡県立大学 2 名、筑紫女学園大学 1 名、久留米大学 2 名、九州看護福祉大学 1 名、九州保健福祉大学通信課程 1 名、日本福祉大学通信課程 1 名
実習内容	社会福祉協議会の役割と事業、ソーシャルワーク 等

【実習プログラム】

実習日	内容
平成 29 年 8 月 17 日	実習説明/オリエンテーション 大牟田市社会福祉協議会概要について
平成 29 年 8 月 18 日	学童/善意銀行について/共同募金について つどいの広場事業について/ファミリーサポートセンター事業
平成 29 年 8 月 20 日	おもちゃの図書館くるりん/公益協ゴミ屋敷清掃活動
平成 29 年 8 月 21 日	朝倉市杷木地区での災害ボランティア支援活動
平成 29 年 8 月 22 日	市民サポーター養成講座（ボランティアについて） サロンレクリエーション準備
平成 29 年 8 月 23 日	あつまろう会に参加 在宅介護者の会に参加
平成 29 年 8 月 24 日	市民サポーター養成講座（社協の事業紹介・実践活動報告） 成年後見・日常生活自立支援事業について
平成 29 年 8 月 25 日	大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 生活困窮者自立支援事業について 校区社協について地域事例検討

実習日	内 容
平成 29 年 8 月 28 日	小地域ネットワーク活動推進事業/ふれあいサロン 知的障害児・者医療支援プロジェクトについて
平成 29 年 8 月 29 日	市民サポーター養成講座（傾聴を学ぶ） 成年後見センターについて/居住支援協議会について
平成 29 年 8 月 30 日	共同募金運営についての仕組みを学ぶ 校区社協会長会参加
平成 29 年 8 月 31 日	市民サポーター養成講座（子どもについて） 福祉教育について/学習支援事業同行（三川/手鎌）
平成 29 年 9 月 2 日	平原ふれあいサロン食堂見学
平成 29 年 9 月 3 日	大牟田市総合防災訓練・災害ボランティアセンター設置運営訓練
平成 29 年 9 月 5 日	市民サポーター養成講座（幼児安全法） 地域支え合いマップ演習
平成 29 年 9 月 7 日	手鎌空き家活用について 平原校区ふれあいサロン食堂プロジェクト会議
平成 29 年 9 月 8 日	福祉サービス担当事業について 玉川校区福祉座談会
平成 29 年 9 月 10 日	成年後見センターにおける死後事務アンケート調査手伝い
平成 29 年 9 月 11 日	平原校区見守り訪問活動同行 実習生報告会準備
平成 29 年 9 月 12 日	日常生活自立支援同行訪問/市民サポーター養成講座（住民同士の支え合い） 実習生報告会準備/手鎌校区空き家活用運営委員会
平成 29 年 9 月 14 日	実習生報告会準備 実習生報告会（2名）
平成 29 年 9 月 19 日	実習生報告会準備 日常生活自立支援同行訪問
平成 29 年 9 月 20 日	実習生報告会準備 実習生報告会（6名）
平成 29 年 9 月 24 日	認知症SOSネットワーク模擬訓練（白川・平原・大正）

(11) 障害者就労・自立支援センターたんぽぽからの実習生の受入

障がい者の就労支援の一環で、職場実習の場として、下記のとおり受け入れた。ジョブコーチ指導のもと、主に、共同募金関係の庶務やデータ入力業務に従事いただいた。

受入期間	①平成 29 年 8 月 21 日～ 9 月 1 日（10 日間） ②平成 29 年 9 月 11 日～ 9 月 29 日（11 日間） ③平成 29 年 11 月 13 日～ 11 月 24 日（9 日間）
受入人数	3 名
実習内容	共同募金関係庶務、データ入力業務 等

～ 各種会議・各種委員会報告 ～

(1) 理事会開催状況

会議名	月 日	内 容
第 1 回理事会	平成 29 年 5 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 1 号…平成 28 年度事業報告について ・議案第 2 号…平成 28 年度資金収支決算について 平成 28 年度監査報告 ・議案第 3 号…社会福祉充実残額について ・議案第 4 号…理事および監事候補者の推薦(案)について ・議案第 5 号…評議員開催日時(案)について ・議案第 6 号…経理規程の一部改正(案)について
第 2 回理事会	平成 29 年 6 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 7 号…理事候補者の推薦(案)について
第 3 回理事会	平成 29 年 6 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 8 号…会長の選定について ・議案第 9 号…副会長の選定について ・議案第 10 号…常務理事の選定について ・議案第 11 号…理事業務担当制部会委員の選出について ・議案第 12 号…各種委員会委員の選出について
第 4 回理事会	平成 29 年 7 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 13 号…補正予算(案)について ・議案第 14 号…第 2 回評議員会開催について(みなし評議員会)
第 5 回理事会	平成 29 年 8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 15 号…放課後児童健全育成事業に関する指定管理者の更新申請(案)について
第 6 回理事会	平成 29 年 11 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 16 号…歴木保育所 児童福祉施設(床面積)変更(案)について
第 7 回理事会	平成 30 年 2 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 17 号…育児・介護休業に関する規程の全部改正(案)について ・議案第 18 号…歴木保育所職員処遇改善等加算支給規程(案)の制定について ・議案第 19 号…平成 29 年度補正予算(案)について ・議案第 20 号…介護サービス利用料減免制度実施要綱(案)の制定について ・議案第 21 号…評議員会開催日時(案)について
第 8 回理事会	平成 30 年 3 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 22 号…平成 30 年度事業計画(案)について ・議案第 23 号…平成 30 年度資金収支予算(案)について ・議案第 24 号…無期労働契約転換職員就業規則(案)の制定について ・議案第 25 号…就業規則の一部改正(案)について

(2) 評議員会開催状況

会議名	月 日	内 容
第 1 回評議員会	平成 29 年 6 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 1 号…平成 28 年度事業報告について ・議案第 2 号…平成 28 年度収支決算について 平成 28 年度監査報告 ・議案第 3 号…社会福祉充実残額について ・議案第 4 号…理事および監事の選任について ・議案第 5 号…役員の報酬等(案)について
第 2 回評議員会	平成 29 年 8 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 6 号…補正予算(案)について
第 3 回評議員会	平成 30 年 3 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 7 号…平成 29 年度補正予算(案)について
第 4 回評議員会	平成 30 年 3 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第 8 号…平成 30 年度事業計画(案)について ・議案第 9 号…平成 30 年度資金収支予算(案)について

(3)各部会・委員会開催状況

会議名	月 日	内 容
第 1 回三役会	平成 29 年 5 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業報告について ・平成 28 年度収支決算について ・平成 28 年度監査報告
第 2 回三役会・ 第 1 回経営企画部会 (合同会議)	平成 29 年 7 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業に関する指定管理者の更新申請について
第 3 回三役会	平成 29 年 11 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉部との財政ヒアリングに関する事
表彰審査委員会	平成 29 年 11 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度大牟田市社会福祉協議会表彰審査
第 4 回三役会	平成 29 年 12 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉部との財政ヒアリングに関する事
第 5 回三役会	平成 30 年 2 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業に関する規程の全部改正(案)について ・歴木保育所職員処遇改善等加算支給規程(案)の制定について ・嘱託職員契約職員給与規程の一部改正(案)について ・平成 29 年度補正予算(案)について ・介護サービス利用料減免制度実施要綱(案)について ・評議員会開催日時(案)について
第 6 回三役会・第 1 回 総務部会(合同会議)	平成 30 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業計画(案)について ・平成 30 年度資金収支予算(案)について ・無期労働契約転換職員就業規則(案)の制定について ・就業規則の一部改正(案)について

平成 29 年度 理事・監事・評議員・顧問 名簿

【理事・監事】

選出区分	役職名	氏名	備考
学識経験者	会 長	川満 佳代子	
校区社協代表	副 会 長	家入 進	H29.6.20 辞任
〃	〃	汐待 律子	H29.6.21 就任
民生委員・児童委員代表	〃	阿津坂 正晴	
学識経験者	常務理事	坂口 英治	
校区コミュニティ連協代表	理 事	芳川 勝	
社会福祉事業施設代表	〃	井田 謙	
福祉団体代表	〃	大場 和正	
ボランティア団体代表	〃	杉野有美子	H29.6.20 辞任
〃	〃	彌永 恵理	H29.6.21 就任
社会福祉関係公務員代表	〃	大久保 徳政	
市議会代表	〃	森 遵	H29.6.20 辞任
〃	〃	島野 知洋	H29.6.21 就任
学識経験者	〃	山崎 安則	H29.6.20 辞任
〃	〃	中村 秀一	H29.6.21 就任
〃	監 事	西山 明	
〃	〃	中川 慶道	

【評議員】

選出区分	役職名	氏名	備考
校区社協代表	評議員	汐待 律子	H29.6.20 辞任
〃	〃	三浦 紀子	
〃	〃	塩塚 國凱	
〃	〃	猿渡 英昭	
〃	〃	田口 文博	
〃	〃	林田 壽	H29.6.20 辞任
民生委員・児童委員代表	〃	奥園 繁俊	
〃	〃	徳永 京子	
校区コミュニティ連協代表	〃	萬矢 勝保	
ボランティア団体代表	〃	塚本 恵美子	
NPO 法人代表	〃	平田 聖子	
社会福祉事業施設代表	〃	猿渡 保生	
〃	〃	緒方 壮二郎	
福祉団体代表	〃	糸原 正則	
〃	〃	西河 マス子	
〃	〃	松尾 サ夕子	
社会福祉関係公務員代表	〃	中村 珠美	
市議会代表	〃	三宅 智加子	
学識経験者	〃	池端 祥久	
〃	〃	安藤 謙治	
〃	〃	関 誠	
〃	〃	奥園 征裕	
〃	〃	大塚 力久	

【顧問】

学識経験者	役職名	氏名	備考
前社協会長	顧問	西村 直	